

開講科目名	東南アジア国家統合論特別演習		
担当教員	貞好 康志	開講区分	単位数
		前期	2単位

授業のテーマと到達目標

インドネシアにおいて中国系住民をめぐる政治・経済・社会的諸問題（＝華人問題）がどのように生じ、展開してきたかを探究することを通じ、同国の近現代史を貫く国民国家統合のディレンマの構造を探究する。

授業の概要と計画

インドネシアの法令や華人自身の言説、新聞報道などのテキスト分析を行なう。

成績評価と基準

テキスト分析に基づいて行なう全員討論で、どれほど有用な意見を出し得たかを基準に評価する平常点が6割。授業に関連したテーマについての期末レポート（4000-6000字程度）が4割。

履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）

中級以上のインドネシア語の読解能力が期待される。

オフィスアワー・連絡先

火曜昼休み。ysd@kobe-u.ac.jpへ予め連絡のこと。

学生へのメッセージ

努力だけでは評価しない。成果を求める。

今年度の工夫

徹底的に分量をこなした上で、諸言説の類型化を図る。

教科書

参考書・参考資料等

東南アジア現代史やマイノリティ問題についての基本的文献を自主的に広く読んでおくこと。

授業における使用言語

インドネシア語、日本語、英語

キーワード

インドネシア 華僑・華人 国民国家統合

開講科目名	比較地域社会論特別演習		
担当教員	中村 覚	開講区分	単位数
		前期	2単位
授業のテーマと到達目標			
国際安全保障学、中東地域研究、サウディアラビア・湾岸地域研究の方法に関して、受講者の目的と相談しつつ、購読リストを決定する。			
授業の概要と計画			
授業でリーディングリストを配布する。			
成績評価と基準			
<ul style="list-style-type: none"> ・担当の報告 ・授業中での討論 ・指定した研究会への出席 			
履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）			
受講目的が明快であることが期待される。			
オフィスアワー・連絡先			
金曜12:20-13:10.satnaka@kobe-u.ac.jp.			
学生へのメッセージ			
<ul style="list-style-type: none"> ・国際安全保障学や中東政治学の方法に関心のある学生を歓迎する。 ・受講する院生の専門、目的、難易度に配慮する。 			
今年度の工夫			
院生の要望に対して、柔軟に対応することとした。			
教科書			
参考書・参考資料等			
授業における使用言語			
日本語、英語、アラビア語			
キーワード			
国際安全保障、イスラーム、中東、地域研究、サウディアラビア、湾岸			

開講科目名	日本文化表象論特別演習		
担当教員	板倉 史明	開講区分	単位数
		前期	2単位

授業のテーマと到達目標

映画学の論文（英語および日本語）を読んで、議論する。学生は与えられた論文を精読し、内容をまとめて発表する。映画学の古典的な論文や最新の論文を読むことによって、各学生の映画学的知識を増やし、映像・音響の専門的分析スキルを高めることを目標とする。

授業の概要と計画

1. インTRODクシヨン
2. 学生発表と議論
3. 学生発表と議論
4. 学生発表と議論
5. 学生発表と議論
6. 学生発表と議論
7. 学生発表と議論
8. 学生発表と議論
9. 学生発表と議論
10. 学生発表と議論
11. 学生発表と議論
12. 学生発表と議論
13. 学生発表と議論
14. まとめと議論

成績評価と基準

出席および授業中の参加度（20パーセント）、授業中のプレゼンテーションおよびディスカッションへの参加（30パーセント）、期末レポート（40パーセント）

履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）

毎回、十分な準備を行なうこと。

オフィスアワー・連絡先

適宜メールにて日時等設定する。itakura(a)people.kobe-u.ac.jp

学生へのメッセージ

映画学の専門的議論を通じて、各自が進めている論文執筆の刺激となるようにします。

今年度の工夫

各学生に最適な購読文献を選択し、議論を活性化させる。

教科書

参考書・参考資料等

授業中に適宜紹介する。

授業における使用言語

日本語

キーワード

映画、映像、メディア

開講科目名	ドイツ・オーストリア表現文化論特別演習		
担当教員	谷本 慎介	開講区分	単位数
		前期	2単位
授業のテーマと到達目標 テーマ：ドイツ・オーストリアを中心とした表現文化について、受講生各自が目標を設定して、その達成をめざします。			
授業の概要と計画 受講生と相談のうえ決めます。			
成績評価と基準 平常点（授業への積極的参加）50%、レポート50%			
履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む） 課題に積極的に取り組むこと。			
オフィスアワー・連絡先 火・木曜日の昼休み・研究室はE216 tanimoto@kobe-u.ac.jp			
学生へのメッセージ 特になし。			
今年度の工夫 ヴィヴィッドな授業をめざします。			
教科書 学生と相談のうえ決めます。			
参考書・参考資料等 			
授業における使用言語 日本語			
キーワード ドイツ・オーストリア・表現文化			

開講科目名	国際政治社会論特別演習		
担当教員	坂井 一成	開講区分	単位数
		前期	2単位

授業のテーマと到達目標

国際関係論の最新の研究動向とその成果を検討する。
国際関係論およびその関連分野での研究職等に就くために不可欠な視点・論点の獲得を目指す。

授業の概要と計画

受講生によるテキストの内容報告をベースに、国際関係論の最新の学術的動向とともに、その課題と展望について議論する。

成績評価と基準

報告の内容（50%）、議論への参加の度合い（50%）。

履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）

授業時に指定する文献を熟読して、事前に疑問点を挙げてくるとともに、授業後には授業内容の定着を図ること。

オフィスアワー・連絡先

随時。ただしメール（kazu[at]harbor.kobe-u.ac.jp）による事前連絡が望ましい。研究室はE407。

学生へのメッセージ

今年度の工夫

教科書

開講時に指示する。

参考書・参考資料等

授業における使用言語

日本語

キーワード

開講科目名	中国社会文化論特別演習		
担当教員	王 柯	開講区分	単位数
		前期	2単位

授業のテーマと到達目標

自著を例に中国における国家思想の変遷に関する思考を紹介し、それを通じて論文における独自の視点と理論的整理の重要性を説明する。

授業の概要と計画

第1周、「論文とはなにか」について講義する。資料を批判的に使う方法、論説を展開する手順、論文の語り口、論文の意味などについて、出席者が理解するように説明する。
 第2周目以降、自著をテキストに、以下の順序で出席者が読んだ上で発表する。
 1、文明論の華夷観—中国における民族思想の起源
 2、三重の天下—中国における多民族国家思想の起源
 3、長城の内と外—成立期の中華帝国と夷狄
 4、分治と漢化—五胡十六国時代における夷狄の中華王朝思想
 5、重層的帝国と多元的帝国—唐・遼・元の国家像
 6、大一統帝国の連続性と非連続性—元・明・清時代の土司制度
 7、ウンマと中華との間—清朝による新疆ウイグル社会統治
 8、擬似的中華民族国家の構築—孫文の民族主義の蹉跌
 9、二重の中国?—一九三〇年代中国人の辺疆認識の構造
 10、「民族自決論」から「民族自治論」へ?中国共産党少数民族政策の決定過程

成績評価と基準

出席率、学習の態度、期末レポートの成績を総合的に判断して成績を評価する。

履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）

- 1、中国および日中関係関連の新聞記事を入念に調べること。
- 2、授業中に発表者の発表内容に対して積極的に質問すること。
- 3、指示した教科書を購入すること

オフィスアワー・連絡先

水曜日 12:30 13:10
E 214室、内線7459

学生へのメッセージ

歴史を複眼的に見ることが重要である。

今年度の工夫

教科書

『天下を目指して』（農文協、2007年出版、3200円）

参考書・参考資料等

授業中に指示

授業における使用言語

日本語

キーワード

開講科目名	イギリス宗教文化論特別演習		
担当教員	野谷 啓二	開講区分	単位数
		前期	2単位
授業のテーマと到達目標			
イギリスの宗教文化に関する英語論文を講読する。イギリスのキリスト教の国教会制度について理解することが到達目標である。			
授業の概要と計画			
エイダン・ニコルズのFrom Newman to Congarのうち、第2章Newmanを精読する。			
成績評価と基準			
授業の準備、授業中の発言内容や授業への貢献度50%と期末レポート50%の総合評価			
履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）			
テキストは事典、辞書を使って丹念に予習して臨むこと。復習としては関連文献を紹介するので、テキストと関連付けて読むこと。			
オフィスアワー・連絡先			
notani@kobe-u.ac.jp E204研究室			
学生へのメッセージ			
今年度の工夫			
教科書			
From Newman to Congar / Aidan Nichols : ,1990 ,ISBN:			
参考書・参考資料等			
授業における使用言語			
日本語			
キーワード			
J.H. Newman			

開講科目名	科学技術社会論特別演習		
担当教員	塚原 東吾	開講区分	単位数
		前期	2単位

授業のテーマと到達目標

西川如見と18世紀の天文学・自然観：プロテスタント科学と、カトリック的な東アジア関与(4)

授業の概要と計画

西川如見の研究を以下のように、各2回づつ行う。

- (1) 天文学
- (2) 地理学
- (3) 自然観
- (4) 天変観、農民思想、庶民倫理
- (5) ジェズイットの中国での活動
- (6) マックス・ウェーバーのプロテスタント観
- (7) 日本における技術優先主義
- (8) 蘭学

成績評価と基準

基本的に最終論文で評価をする。
オリジナリティとプライオリティをもって評価する。

履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）

かなり高度の内容となるので、準備には、毎回3時間程度かかる。

オフィスアワー・連絡先

木、ヒル、M404

学生へのメッセージ

蘭学者くらいには勉強しましょう。

今年度の工夫

マックス・ウェーバーの蘭学的解釈を入れたところ。

教科書

参考書・参考資料等

授業における使用言語

日本語、英語、オランダ語

キーワード

西川如見、キリシタン科学、プロテスタント科学、蘭学、天文学史、18世紀の自然観

開講科目名	民族誌論特別演習		
担当教員	岡田 浩樹	開講区分	単位数
		前期	2単位

授業のテーマと到達目標

この講義では基本的な民族誌を講読し、民族誌的記述の基本形式、記述戦略を習得することを目的とする。

授業の概要と計画

講義では、月の初めに、人類学の民族誌的記述についての学説史的講義を行う。受講者は、それぞれのfield、研究テーマを考慮し、松田素二・川田牧人編著『エスノグラフィー・ガイドブック』嵯峨野書院2002から和書1冊、また英語文献1冊を選択し、その内容を数回に分けて発表する。講師はそれについてコメントすると共に出席者と議論を行う。

成績評価と基準

学期末は、受講生の研究テーマに即した民族誌を執筆し、レポートして提出
 講義への参加：40%
 レポート評価60%

履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）

- ・発表者は論文草稿、レジюмеを前日昼までにメールで提出すること。その他の出席者は必ず草稿に目を通し、あらかじめ質問、コメントを作成して授業に臨んで下さい（提出）
- ・受講者は、初回ガイダンスに必ず出席すること

オフィスアワー・連絡先

木曜日 昼休み
 事前のメール連絡必要
 基本的に掲示板で連絡を行う

学生へのメッセージ

今年度の工夫

教科書

エスノグラフィー・ガイドブック / 松田素二・川田牧人：嵯峨野書院,2002,ISBN:4782303475

参考書・参考資料等

授業における使用言語

日本語

キーワード

Ethnography Anthropology

開講科目名	モンゴル社会文化論特別演習		
担当教員	萩原 守	開講区分	単位数
		前期	2単位

授業のテーマと到達目標

モンゴル民族史に関する研究状況や研究方法を学んでもらう。

授業の概要と計画

学生本人の研究テーマに応じて、史料の解説や方法論を検討する。

成績評価と基準

研究発表による。

履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）

自分の研究計画を事前にしっかりと立てておくこと。また、他の学生が発表しているときにも、参考となりそうな点に常に注意を払う必要がある。

オフィスアワー・連絡先

月・木の昼休み

学生へのメッセージ

今年度の工夫

学生本人の希望に応じたい。

教科書

なし。

参考書・参考資料等

なし。

授業における使用言語

日本語

キーワード

モンゴル民族史

開講科目名	オセアニア社会文化論特別演習		
担当教員	窪田 幸子	開講区分	単位数
		前期	2単位

授業のテーマと到達目標

文化人類学において、現在注目されている知見についての理解と、自分の研究テーマとリンクさせて考える方法を身につける。

授業の概要と計画

今期は、少数者と美術工芸をテーマにとりあげる予定である。
履修者の興味にも考慮し、テーマを選択する予定である。

成績評価と基準

出席および発言内容、中間レポート、最終レポートによって総合的に評価する。

履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）

毎回、十分な準備を行うこと。

オフィスアワー・連絡先

E222(要アポイント)
kubotas@people.kobe-u.ac.jp

学生へのメッセージ

一方的講義のみではなく、履修者にも論文購読、報告を求める。英語の論文になれることを目指してください。

今年度の工夫

教科書

講義の最初に提示する。

参考書・参考資料等

授業における使用言語

日本語

キーワード

開講科目名	多文化政治社会論特別演習		
担当教員	近藤 正基	開講区分	単位数
		前期	2単位

授業のテーマと到達目標

先進諸国の福祉国家は、現在、再編期に入りつつある。本演習では、主として日本やヨーロッパ諸国を対象として、福祉国家および福祉政治の国際比較を行う。専門書を輪読し、各自が専門的知識をより深めることを目的としている。

授業の概要と計画

受講者と相談した上で、授業テーマに沿った本を選定し輪読する。取り扱うテーマは、以下のとおりである。

ヨーロッパ諸国の福祉国家改革と政治力学

EU統合と福祉国家改革

日独福祉国家の戦後史

日本型福祉国家の再編

このほか、受講生の希望により、隣接テーマも取り扱う予定。

成績評価と基準

授業への出席率（30%）、討論への参加（30%）、プレゼンテーション（40%）をもとに採点する。

履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）

現代ヨーロッパ政治、比較政治学、比較福祉国家論など、本講義の主題となっているテーマについて、一定の予備知識を備えていることが望ましい。

オフィスアワー・連絡先

オフィスアワーは特に定めない。研究の質問等ある方は、まずはメールでアポイントメントをとること。

学生へのメッセージ

博士論文の執筆に役立つような授業にしたいと思います。

今年度の工夫

教科書

特に定めません。

参考書・参考資料等

受講者との相談によって、輪読本を決定後適宜紹介する。

授業における使用言語

日本語、ドイツ語、英語

キーワード

福祉国家、比較政治、ヨーロッパ政治、多文化主義

開講科目名	イギリス市民文化論特別演習		
担当教員	石塚 裕子	開講区分	単位数
		前期	2単位

授業のテーマと到達目標

授業では、ヨーロッパ、とりわけイギリスの中産階級による文化の成立とそこに至る過程、そしてまたここから生じる様々な諸問題を文学作品を通して検討する。

授業の概要と計画

成績評価と基準

三の二以上出席をした上でクラスでの発表。

履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）

オフィスアワー・連絡先

金曜日昼休み
ishizuka@kobe-u.ac.jp

学生へのメッセージ

今年度の工夫

教科書

参考書・参考資料等

授業における使用言語

日本語

キーワード

開講科目名	ラテン・アメリカ文化交流論特別演習		
担当教員	小澤 卓也	開講区分	単位数
		前期	2単位
授業のテーマと到達目標			
メインテーマは、ラテンアメリカのエスニシティとナショナリズムです。受講生自身がこのテーマに関わる独自の学術的研究を進め、小論文にまとめることを到達目標とします。			
授業の概要と計画			
メインテーマに関わるスペイン語文献を読み進めながらクラス全体で討論します。一定量のスペイン語資料をまとめて報告してもらうこともあります。			
成績評価と基準			
授業中の積極性や口頭発表などの日常点（50％）と学期末小論文の内容（50％）とを総合して評価します。			
履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）			
あらかじめ受講生自身が選んだラテンアメリカのエスニシティとネイション（あるいはナショナリズム）に関する本（あるいは論文）の内容を整理し、批判的な立場からそれに対して自らの学術的見解を述べられるようにしておいてください。			
オフィスアワー・連絡先			
オフィスアワーは水曜日2限目です（メールによるアポが必要）。メールアドレスは ozataku(AT)harbor.kobe-u.ac.jp です。			
学生へのメッセージ			
今年度の工夫			
教科書			
特に指定しません。必要な資料はできるかぎりこちらでコピーして配布します。			
参考書・参考資料等			
授業中に紹介することもあります。			
授業における使用言語			
日本語			
キーワード			
ラテンアメリカ エスニシティ ナショナリズム			

開講科目名	文化人類学特別演習		
担当教員	齋藤 剛	開講区分	単位数
		前期	2単位

授業のテーマと到達目標

文化人類学的研究に従事する者を対象とし、博士論文、学会誌投稿論文などの完成に向け、各自の議論の深化を図ることを目的とする。

授業の概要と計画

受講生は、各回ごとに分担をして、各自論文草稿を執筆・事前提出のうえ発表をする。受講生全員でその内容をめぐって討議を重ねることで、論文の精練と議論の深化を図る。

成績評価と基準

成績評価は、以下の諸点をもとに総合的に判断する。

- (1) 出席 (20%)
- (2) 発表原稿の事前提出 (下段の「履修上の注意」を参照のこと) (30%)
- (3) 発表 (回数と内容) (10%)
- (4) 授業への参加度 (10%)
- (5) 授業に際して指摘された修正個所の改善 (30%)

履修上の注意 (準備学習・復習、関連科目情報等を含む)

初回の授業では、受講生全員で発表分担を決定するので、必ず出席すること。発表の1週間前の授業の際に完全原稿を提出することを義務づける。受講生は各自、発表原稿を事前に読み込み、議論すべき点についてきちんと自分なりの考えを練っておくこと。なお、発表原稿の事前提出がない場合には、減点対象となる。

オフィスアワー・連絡先

初回授業に際して伝える。

学生へのメッセージ

今年度の工夫

教科書

参考書・参考資料等

授業における使用言語

日本語

キーワード

開講科目名	伝統文化翻訳論特別演習		
担当教員	北村 結花	開講区分	単位数
		前期	2単位

授業のテーマと到達目標

テーマ:原文と翻訳作品の比較考察。
到達目標:具体的事例に即して海外における日本古典の受容についての知識と理解を深める。

授業の概要と計画

『源氏物語』原文と三種類の英訳の比較考察を行う。今年は「浮舟」巻を読む。初回の授業で担当を決め、翌週から早速、読み進めたい。多読するか精読するかは、受講生との相談の上、考えたい。

成績評価と基準

平常点評価50% (授業での発表内容+ディスカッションへの参加度)+期末レポート50%。
3回以上欠席の場合は、授業を放棄したものとする。なお、各自の報告の際に欠席した場合も同様。(ただし特段の理由—忌引、伝染性の病気—がある場合は除く。診断書等の提出が必要。)

履修上の注意(準備学習・復習、関連科目情報等を含む)

古文の読解能力は必須。現代語訳は用いません。予習については原文、英訳を丁寧に読み、各自の考察をまとめておくことが必須。

オフィスアワー・連絡先

yuika < A T > kobe-u.ac.jp

学生へのメッセージ

今年度の工夫

教科書

英訳はプリントを配布するが、原文については各自入手されたし。(手軽なところでは角川文庫版)

参考書・参考資料等

授業における使用言語

日本語

キーワード

開講科目名	対人行動論特別演習		
担当教員	米谷 淳	開講区分	単位数
		前期	2単位

授業のテーマと到達目標

博士課程後期課程の学生を対象に対人行動に関する高度な知識と研究技法を習得できるよう、対人行動に関する様々な研究論文をテキストに、各自の研究とむすびつけながら議論する。

授業の概要と計画

原則として授業の進め方や授業で扱う文献は最初の授業の時に、受講者と話し合っ決めてます。

1 5 対人行動研究の視点
6 10 対人行動研究の方法
11 15 対人行動研究の応用

成績評価と基準

授業中に最低3回以上プレゼンをしていただく他、積極的に討議に加わっていただくことが前提です。成績評価はこうした授業中のアクティビティとレポートを総合して行います。

履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）

心理学について学部専門以上の知識を有していること、国際学会誌の英語論文を読みこなせる力があることが前提です。

オフィスアワー・連絡先

毎週水曜日昼休み(12:30 1:20)・TEL803-7603/e-mail:maiya@kobe-u.ac.jp

学生へのメッセージ

最初の授業でガイダンスを行いますので、第1週の授業には必ず出席してください。

今年度の工夫

学生にレポートやプレゼン等の課題を出し、積極的な学習を促します。

教科書

参考書・参考資料等

授業における使用言語

日本語

キーワード

対人行動 研究技法 国際学会誌

開講科目名	コミュニケーション認知論特別演習		
担当教員	松本 絵理子	開講区分	単位数
		前期	2単位

授業のテーマと到達目標

本講義では、視覚認知、注意、社会性などの人間の認知システムについて、認知心理学領域のテキスト、論文の講読、議論を通じて理解を深めることを目的とする。

授業の概要と計画

主として、認知神経心理学、認知心理学領域の英語原著論文の講読、発表を通じて議論を行う。必要に応じて、日本語の総説等もテキストとして用いる。資料については授業内で指示する。

成績評価と基準

授業内での発表内容、ディスカッションへの参加状況、テーマへの理解度から評価を行う。特にレジュメ、プレゼンテーションの内容や積極的な議論への参加、資料の事前学習によるテーマの理解度等が評価の対象となる。

履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）

授業内で指示した文献・資料については、必ず目を通し、不明な用語については下調べをしておくことが求められます。

オフィスアワー・連絡先

随時。必ず事前にメールにてアポイントを取ってください。

学生へのメッセージ

この授業を活用して、認知心理学の最新の知見に触れ、それらがどのような手法を用いてデータ収集や解析がなされたか、どのような問題点が残されているかについて考えましょう。

今年度の工夫

認知心理学、実験心理学の手法をスキルとして身に付けられるように、研究論文やテキストを読み解きながら研究手法についても解説を行う。

教科書

授業内で必要に応じて指示する。

参考書・参考資料等

授業内で指示する。

授業における使用言語

日本語
(文献資料、テキストは主として英語です。)

キーワード

認知心理学、認知神経科学

開講科目名	コンピューター・コミュニケーション・システム論特別演習		
担当教員	大月 一弘	開講区分	単位数
		前期	2単位

授業のテーマと到達目標

コンピュータを用いたコミュニケーションの最新動向について、情報通信技術・アプリケーション技術・コミュニケーションシステムの利用方法に関する論文や解説書を読み、それらの技術を使って実システムがどのように構築され、どのような効果を期待されるかを議論する。

授業の概要と計画

受講生の興味や基礎知識などに応じて、授業で取り扱う文献を決定する。授業時まで各自が文献を事前に読んでおくことを前提とする。学生の皆さんの疑問・意見などをもとに解説・議論を進める。レポート作成の課題を出すこともある。

成績評価と基準

授業への出席、予習の程度、授業中の議論への参加の程度、知識習得度をもとに評価する。知識習得度を調べるためにレポートを課すこともある。

履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）

あらかじめ予習内容を指示する。
また、復習のための課題を課する。

オフィスアワー・連絡先

学生へのメッセージ

今年度の工夫

教科書

参考書・参考資料等

授業における使用言語

日本語

キーワード

開講科目名	外国語教授学習論特別演習		
担当教員	柏木 治美	開講区分	単位数
		前期	2単位

授業のテーマと到達目標

- 外国語教授学習に関連する分野の論文購読（日本語および英語）
- 関連分野の先行研究の内容を知り，研究デザインについての理解を深めること。

授業の概要と計画

授業概要：毎回，指定論文を学生が報告し，その内容についてディスカッションを行う。

成績評価と基準

出席、発表、授業参加の態度（40%）
 課題（課題、中間レポートを含む）（30%）
 期末レポート（30%）

詳細については授業で説明する。

履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）

オフィスアワー・連絡先

予め以下のメールアドレスにアポイントをとること。
 kasiwagi@kobe-u.ac.jp，D610室

学生へのメッセージ

今年度の工夫

教科書

詳細については授業で説明する。 / : , , ISBN:

参考書・参考資料等

授業における使用言語

日本語

キーワード

開講科目名	芸術文化共生論特別演習		
担当教員	岩本 和子	開講区分	単位数
		前期	2単位

授業のテーマと到達目標

芸術活動とそれを支える制度の形成過程や諸現象、社会との関わりについて深く理解することをめざします。

授業の概要と計画

芸術文化を支える制度や環境、またその内容について、各国の歴史の変遷や現状と課題を考察し、また調査・発表や論文執筆に向けての指導を行います。

成績評価と基準

平常点と研究の進捗状況による。

履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）

テキスト読解または調査などの事前準備があります。

オフィスアワー・連絡先

随時（メールにて事前連絡）iwamotok@kobe-u.ac.jp

学生へのメッセージ

講演会の聴講、展覧会・舞台芸術・映画鑑賞などを補助的活動として行うので積極的に参加すること。またヨーロッパでの現地調査実施もめざします（フランス、ベルギー、ドイツなど）。

今年度の工夫

教科書

参考書・参考資料等

適宜授業中に指示する

授業における使用言語

日本語（状況に応じて英語、フランス語）

キーワード

開講科目名	メディア統合論特別演習		
担当教員	森下 淳也	開講区分	単位数
		前期	2単位

授業のテーマと到達目標

コンピュータとネットワークの発達によって、様々なメディアがデジタル化されて統合されている。携帯電話の普及やテレビの地上波放送のデジタル化など、我々の五感以外にはデジタルではないものが存在しなくなる程である。このようなデジタルによるマルチメディアの統合を技術的な側面から考察していく。

授業の概要と計画

演習は、最新のトピックに関する教材(本・論文)を選び、その題材について輪講を行いながら議論する。

成績評価と基準

演習中の活動を主に評価の対象とするが、場合によってはレポートを課し、それを評価とする場合もある。平常点による評価或は、平常点+レポートの何れかとなる。

履修上の注意(準備学習・復習、関連科目情報等を含む)

輪講形式ですので、出席及び発表が必須となります。

オフィスアワー・連絡先

随時。但し、要事前連絡。(連絡先メールは詳細情報へ)
研究室: 鶴甲第1キャンパスB棟4階, B401研究室(新B棟最上階階段横)

学生へのメッセージ

今年度の工夫

教科書

教科書は指定しない。参考となる文献については演習の中で紹介する。

参考書・参考資料等

授業における使用言語

日本語

キーワード

開講科目名	外国語教育工学論特別演習		
担当教員	柏木 治美	開講区分	単位数
		前期	2単位

授業のテーマと到達目標

-情報通信技術の外国語教育への応用に関連する分野の論文購読（日本語および英語）
-関連分野の先行研究の内容を知り，研究デザインについての理解を深めること。

授業の概要と計画

授業概要：毎回，指定論文を学生が報告し，その内容についてディスカッションを行う。

成績評価と基準

出席、発表、授業参加の態度（40%）
課題（課題、中間レポートを含む）（30%）
期末レポート（30%）

詳細については授業で説明する。

履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）

オフィスアワー・連絡先

予め以下のメールアドレスにアポイントをとること。
kasiwagi@kobe-u.ac.jp，D610室

学生へのメッセージ

今年度の工夫

教科書

詳細については授業で説明する。 / : , , ISBN:

参考書・参考資料等

授業における使用言語

日本語

キーワード

開講科目名	先端コミュニケーション論特別演習		
担当教員	能田 由紀子	開講区分	単位数
		前期	2単位

授業のテーマと到達目標

発話・言語音の聴取等といった音声コミュニケーションの際に人の脳内の処理がどのようにおこなわれるのかを、脳についての基礎知識や脳活動計測の手法についての講義、実際の研究の文献を読む演習、簡単なタスクを用いたfMRIを用いた実験実習、さらに実際の研究計画を立てる実習を通じて理解し、自分自身の関心のあるテーマで実験が計画できるようになる

授業の概要と計画

脳についての基本的な講義・fMRI, MEG, NIRS, PET等の脳活動計測手法の原理とその特徴についての講義・音声コミュニケーションを扱った脳活動計測の先行研究の文献調査・fMRIによる脳活動計測実験の計画作成・fMRIによる脳活動計測実習・計測データの解析法の紹介などを予定している。(ATRにおける学外実習で、fMRIを用いた脳活動計測を行う)

成績評価と基準

出席時の発言、プレゼンテーションなどの活動(40%)レポート(60%)の配分で授業内容の理解度、授業への参加の積極性をもとにします。

履修上の注意(準備学習・復習、関連科目情報等を含む)

初歩的なところから解説するため神経科学についての予備知識は必要としませんが、脳について自分が持っている関心・意識について演習中に説明できるように準備し、将来脳活動を計測する機会があればどのようなことを調べたいのか、考えておくことができればよい。課題が出された場合は準備をしておくこと。

オフィスアワー・連絡先

授業前・授業後に質問等を受け付けます。メールにて連絡可

学生へのメッセージ

脳の働きに興味のある学生を歓迎します。

今年度の工夫

fMRIを用いた実習を行い、実際の脳活動計測がどのようなものかが十分理解できるようにします。

教科書

特に指定しません

参考書・参考資料等

演習中に適宜紹介する。

授業における使用言語

日本語

キーワード

音声・言語・脳活動計測・fMRI

開講科目名	言語文化表象論特別演習		
担当教員	島津 厚久	開講区分	単位数
		前期	
授業のテーマと到達目標			
ユダヤ系知識人George Steiner の読者（書）論を読む。			
授業の概要と計画			
オーストリアに生まれ、アメリカに亡命したユダヤ系知識人、George Steiner が書き残した読者（書）論、"The Uncommon Reader" を精読する。「読書する哲学者」という1枚の絵の解釈から始まって、中世と近・現代の文化比較へと至る思索の跡をたどりたい。1回ずつの進度は遅くても、一文一文丁寧に読んでいく。意欲ある者の読書会にできたらと考えている。			
成績評価と基準			
授業内活動による			
履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）			
教材を下読みしてきて下さい。			
オフィスアワー・連絡先			
火曜昼休み D623			
学生へのメッセージ			
今年度の工夫			
教科書			
参考書・参考資料等			
授業における使用言語			
日本語、英語			

キーワード

開講科目名	言語教育科学論特別演習		
担当教員	横川 博一	開講区分	単位数
		前期	2単位

授業のテーマと到達目標

科研プロジェクト「外国語運用能力の熟達化に伴う言語情報処理の自動化プロセス」および研究プロジェクト「社会文化的・認知神経心理学的アプローチによる第二言語処理メカニズムの解明」を念頭に置いて、第二言語の獲得・処理・学習にかかわる心理言語学・認知神経心理学および関連領域の最新の研究成果について、学術論文の輪読・検討およびディスカッションを通じて理解を深めることを目的とする。

授業の概要と計画

授業は、担当者による学術論文のレビュー、受講生全員によるディスカッションを中心としたセミナー形式で進める。各回2本の論文を輪読するが、担当者は授業日一週間前までにDropBoxに論文PDFをアップし、当日は内容をまとめたレジュメを配布する。担当者以外は、論文の内容に関する質疑、ディスカッションになりうるコメントを用意して授業に臨むことが期待されている。また、担当者は、事後2週間以内に、レジュメの修正版にコメント（ディスカッション）を加えたファイルをDropBoxにアップする。

輪読する学術雑誌は、原則として、以下のものとする（神戸大学電子ジャーナルにて利用可）。

J. of Memory & Language, J. of Psycholinguistic Research, Language & Cognitive Processes, Cognition, J. of Experimental Psychology, Psychological Review, Memory & cognition, Language and Speech.

Language & Brain, J. of Neurolinguistics J. of Cognitive Neuroscience, Brain Mapping

Language Learning, System, Applied Psycholinguistics, J. of Second Language Writing

その他、教員が必要と認めたもの（要事前相談）

各担当者の研究テーマおよび研究プロジェクトに即して、輪読論文を選定することとする。

成績評価と基準

次の点にもとづき、総合的に評価する。

- 論文レポートの内容・発表力（30%）
- 事後レポート（30%）
- ディスカッションへの積極的参加、発言内容など（40%）

履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）

事前に論文を熟読した上でDiscussion Pointを設定し、事後は、レビューおよびディスカッションをふまえてコメントを加えたファイルを作成し、提出する。

オフィスアワー・連絡先

随時。事前にメールにてコンタクトをとること：yokokawa@kobe-u.ac.jp

学生へのメッセージ

最新の研究成果をふまえつつ、おもしろい研究をしよう。

今年度の工夫

担当者は、事後2週間以内に、レジュメの修正版にコメント（ディスカッション）を加えたファイルをDropBoxにアップする。

教科書

参考書・参考資料等

授業における使用言語

日本語

キーワード

spcholingistics, foreign language education, neuroscience

開講科目名	近代社会思想系譜論特別演習		
担当教員	疋茂	開講区分	単位数
		前期	2単位
授業のテーマと到達目標			
博士論文の作成に向けての助言と指導			
授業の概要と計画			
博士論文の計画についてのプレゼンテーションをたえず求める。			
成績評価と基準			
出席と積極的参加			
履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）			
オフィスアワー・連絡先			
金曜日 13:00-13:20			
学生へのメッセージ			
今年度の工夫			
教科書			
参考書・参考資料等			
授業における使用言語			
日本語			

キーワード

開講科目名	コミュニケーション文法論特別演習		
担当教員	定延 利之	開講区分	単位数
		前期	2単位
授業のテーマと到達目標			
伝達論的なコミュニケーション観、目的論的な発話行為観、道具論的な言語観を乗り越える、よりリアルな記述枠組みについて理解を深める。			
授業の概要と計画			
毎回、草稿あるいはそれに代わるものを配布し、これを議論の出発点としたい。			
成績評価と基準			
期末のレポートで評価する。			
履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）			
毎回、十分な準備を行なうこと。			
オフィスアワー・連絡先			
水曜昼休み（要事前連絡）			
学生へのメッセージ			
今年度の工夫			
教科書			
参考書・参考資料等			
ささやく恋人、りきむレポーター：口の中の文化 / 定延利之：岩波書店, 2005, ISBN:400068369 煩惱の文法：体験を語りたがる人びとの欲望が日本語の文法システムをゆさぶる話 / 定延利之：筑摩書房, 2008, ISBN:9784480064387 日本語社会のぞきキャラくり / 定延利之：三省堂, 2011, ISBN:9784385365251			
授業における使用言語			
日本語			
キーワード			
伝達論的なコミュニケーション観 目的論的な発話行為観 道具論的な言語観			

開講科目名	外国語教育内容論特別演習I		
担当教員	大和 知史	開講区分	単位数
		前期	2単位

授業のテーマと到達目標

<外国語教育・英語教育の中でも音声言語教育を中心とした論文講読>をテーマとし、専攻関連分野の知見を広げることが目標とする。

授業の概要と計画

受講学生の専攻分野も考慮に入れながら、上記テーマに即した内外の論文を講読し、それを基にディスカッションを行います。

成績評価と基準

出席、授業内の積極的な発言、授業における発表を総合的に判断して成績評価を行います。

履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）

準備学習としての文献精読、概要の整理が必要となる。

オフィスアワー・連絡先

研究室：国文（鶴甲第一）キャンパスD棟622
 連絡方法：電子メール yamato@port.kobe-u.ac.jp

学生へのメッセージ

良い論文を書くためには、とにかく読む、悩む、話す、を繰り返すことだと思います。そんな場所の一つになるようにしたいと思います。

今年度の工夫

教科書

参考書・参考資料等

授業における使用言語

キーワード

開講科目名	現代法規範論特別演習		
担当教員	櫻井 徹	開講区分	単位数
		前期	2単位

授業のテーマと到達目標

「19世紀の進化理論」
 ダーウィン以降、19世紀の文脈において進化がいかに語られ又は反駁され、いかなる社会的反響を呼んだのかを、当時のテキストに取り組むことをとおして理解・習得することを目的とする。

授業の概要と計画

ダーウィン、ウォレス、トマス・ハクスリーなど、19世紀の代表的な進化論者の著作を輪読することで、彼らがどのような自然観・生命観に立って進化と人間について語ったのかを考えます。

成績評価と基準

出席50%、平常点50%という配分で、単位認定を行います。

履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）

毎回、テキストの予習に基づく報告が求められます。

オフィスアワー・連絡先

電子メール(sakurait@kobe-u.ac.jp)にて随時。

学生へのメッセージ

今年度の工夫

教科書

受講生と相談のうえ、決定する。

参考書・参考資料等

桜井徹『リベラル優生主義と正義』（ナカニシヤ出版、2007年）。

授業における使用言語

日本語

キーワード

進化，ダーウィン，ハクスリー，優生主義，社会ダーウィニズム

開講科目名	情報ベース論特別演習		
担当教員	清光 英成	開講区分	単位数
		前期	2単位

授業のテーマと到達目標

情報検索，Web情報システム，データベースシステムのような個別の体系を有機的に結合して目的となるシステムを構築するためには，各体系の知識ならびに繋がりを的確に把握している必要がある．本講は上記を習得させることを目的とし，実装法も交えて議論を進める．

授業の概要と計画

以下，三部構成ですすめる．

1. 情報検索概観
2. Web情報システムの動向
3. データベースシステム

成績評価と基準

取り組もうとする課題やアイデアなど加点法で評価する．

履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）

出席できない場合は事前に連絡してください。

オフィスアワー・連絡先

随時。
（但し、要事前連絡。連絡先E-MAIL:kiyomitsu@carp.kobe-u.ac.jp）
研究室：鶴甲第1キャンパス、B407。

学生へのメッセージ

今年度の工夫

今年度はレポートを課すことにします。

教科書

特に指示しないが，参考となる文献などは都度紹介する．

参考書・参考資料等

特に指示しないが，参考となる文献などは都度紹介する．

授業における使用言語

日本語

キーワード

情報検索，Web情報システム，データベースシステム

開講科目名	言語対照応用論特別演習I		
担当教員	柘田 義一	開講区分	単位数
		前期	2単位

授業のテーマと到達目標

ヨーロッパの言語教育の指針であり規範となっている「言語共通参照枠(CEFR)」に準拠した文法教育の考察がテーマ。

授業の概要と計画

「言語共通参照枠」に準拠した実践解説書、たとえばドイツ語ではProfile Deutsch、における文法をもとにCEFRの日本導入に際しての問題点を考察し、日本の授業における規範となる文法を提示したい。

成績評価と基準

授業における発表と期末レポート。

履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）

ヨーロッパの言語が対象となるので、英独仏語のいずれかが出来ることが、受講の条件となる。

オフィスアワー・連絡先

火曜日昼休み
研究室（D607）

学生へのメッセージ

ヨーロッパ語の文法及びヨーロッパの言語政策に興味を持っている人の受講を歓迎する。

今年度の工夫

教科書

随時プリントを配布。

参考書・参考資料等

講義にて随時紹介する。

授業における使用言語

日本語、ドイツ語

キーワード

CEFR EUの言語政策 文法教育

開講科目名	近代経済思想系譜論特別演習		
担当教員	市田 良彦	開講区分	単位数
		前期	2単位

授業のテーマと到達目標

「現代思想と政治」
5限の修士課程向け講義の延長で、より種別的な問題を演習形式で扱います。

授業の概要と計画

参加者にテーマと文献を指定し、発表してもらいます。

成績評価と基準

平常点のみ。出席を重視します。

履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）

発表者以外も、指定文献については読んでおくこと。

オフィスアワー・連絡先

昼休みならいつでも。ただし事前に連絡してください。E棟304。

学生へのメッセージ

そろそろプロとしての自覚を。

今年度の工夫

教科書

なし。

参考書・参考資料等

授業における使用言語

日本語。

キーワード

開講科目名	生命規範形成論特別演習		
担当教員	山崎 康仕	開講区分	単位数
		前期	2単位

授業のテーマと到達目標

テーマ：「現代社会における生命倫理規範の構築」

目標： 現代社会においては「生命」に関する倫理や規範が揺らぎ、再構築が求められている。この演習では、体外授精技術、ES細胞研究など人の「生」に関する諸問題、脳死、安楽死などの人の「死」に関する諸問題を通して、現代社会における生命に関する規範について考究することを目標とする。

授業の概要と計画

受講生の報告を中心に演習を進める。受講生は、生命倫理規範に関する特定の問題を取り上げ、報告する。場合によっては、受講生の求める文献を輪読する。

成績評価と基準

授業での議論の貢献度(70%)と、学期末のレポート(30%)で評価する。

履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）

オフィスアワー・連絡先

随時。要連絡。
yy@people.kobe-u.ac.jp

学生へのメッセージ

今年度の工夫

教科書

教科書は特に指定しない。

参考書・参考資料等

ホセヨンパルト・秋葉悦子・Jos Llompарт 『人間の尊厳と生命倫理・生命法』成文堂(2007)
玉井真理子・横野恵編 『子どもの医療と生命倫理 資料で読む』法政大学出版局(2009)
篠原駿一郎・石橋孝明編 『よく生き、よく死ぬ、ための生命倫理学』ナカニシヤ出版(2009)
広井良典 『生命の政治学-福祉国家・エコロジー・生命倫理』岩波書店(2003)
James L. Bernat 『臨床家のための生命倫理学 倫理問題解決のための実践的アプローチ』協同医書出版社(2007)
生命倫理と法編集委員会 『資料集 生命倫理と法 ダイジェスト版 資料集』太陽出版; 新版版(2008)
捨てられるいのち、利用されるいのち 胎児組織の研究利用と生命倫理(単行本)
玉井真理子(編集), 平塚志保(編) 生活書院(2009)
高橋隆雄 『生命・環境・ケア 日本の生命倫理の可能性』九州大学出版会(2008)
アーサーカプラン・久保儀明・檜崎靖人 『生命の尊厳とはなにか 医療の奇跡と生命倫...』青土社(1999)
秋葉悦子 『ヴァチカン・アカデミーの生命倫理 ヒト胚...』知泉書館(2005)

授業における使用言語

日本語

キーワード

生命倫理学 法哲学 法と倫理 医療倫理 脳死 安楽死 代理母

開講科目名	文化環境形成論特別演習		
担当教員	藤野 一夫	開講区分	単位数
		前期	2単位
授業のテーマと到達目標 芸術と社会、文化と政治をめぐる複雑な関係について、アクチュアルな問題も含めてさまざまなトピックを紹介し、日本の芸術文化環境を改善するための手がかりをつかみたい。			
授業の概要と計画 芸術は社会とどう関わるべきか？ 芸術は、社会問題や経済問題の解決、また「まちづくり」のための「道具」となるべきか？ それとも美的自律性を貫いて、社会とは一線を画すべきか？ 芸術至上主義は、現在でも可能か？ このような疑問を徹底的に考え抜くために、専門性の高い文献を用いた発表と討議を行う。			
成績評価と基準 レポートによる			
履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む） 			
オフィスアワー・連絡先 随時・要連絡 fujino@kobe-u.ac.jp			
学生へのメッセージ 			
今年度の工夫 			
教科書 授業中に指示			
参考書・参考資料等 授業中に指示			
授業における使用言語 			
キーワード 			

開講科目名	芸術文化表現論特別演習		
担当教員	楯岡 求美	開講区分	単位数
		前期	220単位

授業のテーマと到達目標

近代化と身体性の変化
近代化の中でパフォーマンスや舞台芸術の果たした役割を考える。制度だけではなく、身体感覚もまた文化受容の中で変化してきたことを理解する。

授業の概要と計画

兵藤裕己『演じられた近代 国民の身体とパフォーマンス』(岩波書店)を購読しながら、近代化と新体制の関係を考察する。
考察内容を中間レポートにまとめる。

学期後半では、参加者が関連テーマを設定し、報告を行い、期末レポートにまとめることに論理的思考力を高め、論文形式になれることをめざす。

成績評価と基準

平常点(報告分担) 30%
中間レポート(論理性および分析力の重視) 30%
期末レポート(着眼点および論文構成力重視) 40%

履修上の注意(準備学習・復習、関連科目情報等を含む)

担当以外でもテキストを読み、それぞれの問題関心にしながら準備すること。
関連資料を各自探し、積極的に知識を増やすこと。

オフィスアワー・連絡先

随時(水曜以外) 事前連絡が望ましい。
kumi3@kobe-u.ac.jp

学生へのメッセージ

それぞれの研究テーマを必ずしも重ならないかもしれませんが、自分のテーマと当該授業で扱うテーマがどのような位置関係にあるのか、研究テーマを広い視野で捉える視点を持ってほしいと思います。

今年度の工夫

参加者の感心に沿ったテーマ設定で各自報告する時間を設けた。

教科書

演じられた近代 国民の身体とパフォーマンス / 兵藤裕己 : 岩波書店 ,2005 ,ISBN:9784000222709

参考書・参考資料等

授業における使用言語

日本語

キーワード

近代、演劇、身体

開講科目名	日本語教育方法論特別演習		
担当教員	齊藤 美穂	開講区分	単位数
		前期	2単位
授業のテーマと到達目標			
様々な日本語教授法の基礎を概観したうえで、実際にそれぞれの教授法を用いた授業をデザインしながら、その特徴を学ぶ。			
授業の概要と計画			
前半は各種の日本語教授法に関する基礎を学び、後半はその実践を想定した模擬授業を試みる。受講者自身による教授法の分析や、教案の作成を求め、それについて受講者全員でディスカッションを行う。			
成績評価と基準			
下記の比率で総合得点を算出する。 1. 出席率 20% 2. 授業への参加態度 50% 発表の内容 ディスカッションへの参加態度 3. 期末レポートの内容 30%			
履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）			
発表者は事前にレジュメを作成し、教員及び他の受講生に配布しておくこと。 受講生は配布されたレジュメに目を通しておくこと。			
オフィスアワー・連絡先			
火曜3限（要事前連絡） E-mail:msaito@people.kobe-u.ac.jp Tel:078-803-5274			
学生へのメッセージ			
今年度の工夫			
教科書			
授業時に指示。			
参考書・参考資料等			
授業における使用言語			
日本語			

キーワード

開講科目名	比較・対照言語論特別演習		
担当教員	林 博司	開講区分	単位数
		前期	2単位

授業のテーマと到達目標

与格とそれにまつわる現象を取り上げる。与格という一つの現象を中心にして、それにまつわる様々な議論をすることによって、各自の博士論文のテーマに刺激を与えることを目指す。

授業の概要と計画

前半で与格に関する基本的文献（日本語・英語）を読んだ後、後半は各自の興味に応じた発表をしてもらう。

成績評価と基準

担当箇所のレポート、及び発表の内容を基にした平常点100%

履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）

自分のテーマに直接関係ないことでも興味を持っているいろいろ考えてもらいたい。

オフィスアワー・連絡先

学生へのメッセージ

今年度の工夫

教科書

参考書・参考資料等

授業における使用言語

日本語

キーワード

開講科目名	先端コミュニケーション論特別演習		
担当教員	近藤 公久	開講区分	単位数
		前期	2単位

授業のテーマと到達目標

先端コミュニケーション論特別演習： コミュニケーションを支える言語について考える。音声・文字、単語、文の理解に至るまでを対象とする。また、視聴覚障がい、高齢者の特性、人とロボットのコミュニケーションにまで範囲を広げて、スムーズなコミュニケーションについて考える基礎を身に着けることを目標とする。

授業の概要と計画

1. 音声、文字、単語の特性と認知に関する基礎（講義中心）
2. 人間の言語理解過程をとらえる実験手法（講義と演習）
3. 視聴覚障がい、高齢者の特性とコミュニケーション（講義と議論）
4. コンピュータ、ロボットとのコミュニケーション（議論と演習）

成績評価と基準

出席点と授業中の活動の積極性を合わせて40%、レポート60%（2回予定）

履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）

準備は特に必要ないが、自身の研究テーマと日本語の特性との関係について考えてみておいて欲しい。履修者人数によるが、レポート内容についてのプレゼンの時間を設け、グループで議論する時間を設ける。

オフィスアワー・連絡先

集中につきオフィスアワーは無

学生へのメッセージ

自身の研究課題がコミュニケーション・言語と直接関連がなくても、言語にまつわる様々なことを、様々な観点から考えてみたい方を歓迎します。

今年度の工夫

ディスカッションを中心とし十分な時間をとりたい。

教科書

特に指定しない。

参考書・参考資料等

授業中に適宜紹介する。

授業における使用言語

日本語

キーワード

日本語の語特性、コミュニケーション、言語心理学

開講科目名	多文化社会論特別演習		
担当教員	近藤 正基	開講区分	単位数
		前期	2単位

授業のテーマと到達目標

先進諸国の福祉国家は、現在、再編期に入りつつある。本演習では、主として日本やヨーロッパ諸国を対象として、福祉国家および福祉政治の国際比較を行う。専門書を輪読し、各自が専門的知識をより深めることを目的としている。

授業の概要と計画

受講者と相談した上で、授業テーマに沿った本を選定し輪読する。取り扱うテーマは、以下のとおりである。

ヨーロッパ諸国の福祉国家改革と政治力学

EU統合と福祉国家改革

日独福祉国家の戦後史

日本型福祉国家の再編

このほか、受講生の希望により、隣接テーマも取り扱う予定。

成績評価と基準

授業への出席率（30%）、討論への参加（30%）、プレゼンテーション（40%）をもとに採点する。

履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）

現代ヨーロッパ政治、比較政治学、比較福祉国家論など、本講義の主題となっているテーマについて、一定の予備知識を備えていることが望ましい。

オフィスアワー・連絡先

オフィスアワーは特に定めない。研究の質問等ある方は、まずはメールでアポイントメントをとること。

学生へのメッセージ

博士論文の執筆に役立つような授業にしたいと思います。

今年度の工夫

教科書

特に定めません。

参考書・参考資料等

受講者との相談によって、輪読本を決定後適宜紹介する。

授業における使用言語

日本語、ドイツ語、英語

キーワード

福祉国家、比較政治、ヨーロッパ政治、多文化主義

開講科目名	音声コミュニケーション構造論特別演習		
担当教員	能田 由紀子	開講区分	単位数
		前期	2単位

授業のテーマと到達目標

発話・言語音の聴取等といった音声コミュニケーションの際に人の脳内の処理がどのようにおこなわれるのかを、脳についての基礎知識や脳活動計測の手法についての講義、実際の研究の文献を読む演習、簡単なタスクを用いたfMRIを用いた実験実習、さらに実際の研究計画を立てる実習を通じて理解し、自分自身の関心のあるテーマで実験が計画できるようになる

授業の概要と計画

脳についての基本的な講義・fMRI, MEG, NIRS, PET等の脳活動計測手法の原理とその特徴についての講義・音声コミュニケーションを扱った脳活動計測の先行研究の文献調査・fMRIによる脳活動計測実験の計画作成・fMRIによる脳活動計測実習・計測データの解析法の紹介などを予定している。(ATRにおける学外実習で、fMRIを用いた脳活動計測を行う)

成績評価と基準

出席時の発言、プレゼンテーションなどの活動(40%)レポート(60%)の配分で授業内容の理解度、授業への参加の積極性をもとにします。

履修上の注意(準備学習・復習、関連科目情報等を含む)

初歩的なところから解説するため神経科学についての予備知識は必要としませんが、脳について自分が持っている関心・意識について演習中に説明できるように準備し、将来脳活動を計測する機会があればどのようなことを調べたいのか、考えておくことができればよい。課題が出された場合は準備をしておくこと。

オフィスアワー・連絡先

授業前・授業後に質問等を受け付けます。メールにて連絡可

学生へのメッセージ

脳の働きに興味のある学生を歓迎します。

今年度の工夫

fMRIを用いた実習を行い、実際の脳活動計測がどのようなものかが十分理解できるようにします。

教科書

特に指定しません

参考書・参考資料等

演習中に適宜紹介する。

授業における使用言語

日本語

キーワード

音声・言語・脳活動計測・fMRI

開講科目名	テレコミュニケーション学習論特別演習		
担当教員	近藤 公久	開講区分	単位数
		前期	2単位

授業のテーマと到達目標

先端コミュニケーション論特別演習： コミュニケーションを支える言語について考える。音声・文字、単語、文の理解に至るまでを対象とする。また、視聴覚障がい、高齢者の特性、人とロボットのコミュニケーションにまで範囲を広げて、スムーズなコミュニケーションについて考える基礎を身に着けることを目標とする。

授業の概要と計画

1. 音声、文字、単語の特性と認知に関する基礎（講義中心）
2. 人間の言語理解過程をとらえる実験手法（講義と演習）
3. 視聴覚障がい、高齢者の特性とコミュニケーション（講義と議論）
4. コンピュータ、ロボットとのコミュニケーション（議論と演習）

成績評価と基準

出席点と授業中の活動の積極性を合わせて40%、レポート60%（2回予定）

履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）

準備は特に必要ないが、自身の研究テーマと日本語の特性との関係について考えてみておいて欲しい。履修者人数によるが、レポート内容についてのプレゼンの時間を設け、グループで議論する時間を設ける。

オフィスアワー・連絡先

集中につきオフィスアワーは無

学生へのメッセージ

自身の研究課題がコミュニケーション・言語と直接関連がなくても、言語にまつわる様々なことを、様々な観点から考えてみたい方を歓迎します。

今年度の工夫

ディスカッションを中心とし十分な時間をとりたい。

教科書

特に指定しない。

参考書・参考資料等

授業中に適宜紹介する。

授業における使用言語

日本語

キーワード

日本語の語特性、コミュニケーション、言語心理学

開講科目名	学位論文指導演習I		
担当教員	指導教員	開講区分	単位数
		通年	2単位
授業のテーマと到達目標			
一年次向けに博士論文作成の指導を行う。			
授業の概要と計画			
各学生の年次および、論文の進行状況に合わせて、コース担当教員全体による指導を行う。			
成績評価と基準			
論文の進行状況および中間発表、コロキウム等を踏まえて、総合的に行う。			
履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）			
オフィスアワー・連絡先			
教務に確認のこと。			
学生へのメッセージ			
今年度の工夫			
教科書			
参考書・参考資料等			
授業における使用言語			

キーワード

開講科目名	学位論文指導演習II		
担当教員	指導教員	開講区分	単位数
		通年	2単位
授業のテーマと到達目標			
二年次向けに博士論文作成の指導を行う。			
授業の概要と計画			
各学生の年次および、論文の進行状況に合わせて、コース担当教員全体による指導を行う。			
成績評価と基準			
論文の進行状況および中間発表、コロキウム等を踏まえて、総合的に行う			
履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）			
オフィスアワー・連絡先			
教務で確認のこと			
学生へのメッセージ			
今年度の工夫			
教科書			
参考書・参考資料等			
授業における使用言語			

キーワード

開講科目名	学位論文指導演習Ⅲ		
担当教員	指導教員	開講区分	単位数
		通年	2単位
授業のテーマと到達目標 三年次向けに博士論文作成の指導を行う。			
授業の概要と計画 各学生の年次および、論文の進行状況に合わせて、コース担当教員全体による指導を行う。			
成績評価と基準 論文の進行状況および中間発表、コロキウム等を踏まえて、総合的に行う			
履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む） 			
オフィスアワー・連絡先 教務に確認のこと			
学生へのメッセージ 			
今年度の工夫 			
教科書 			
参考書・参考資料等 			
授業における使用言語 			

キーワード

開講科目名	学位論文指導演習I		
担当教員	指導教員	開講区分	単位数
		通年	2単位
授業のテーマと到達目標			
学位論文作成のための指導を行なう。			
授業の概要と計画			
学位論文のテーマに基づく。			
成績評価と基準			
提出論文による(100%)			
履修上の注意(準備学習・復習、関連科目情報等を含む)			
毎回、十分な準備を行うこと。			
オフィスアワー・連絡先			
指導教員のHPを参照。			
学生へのメッセージ			
各自の指導教員と綿密に連絡をとってください。			
今年度の工夫			
教科書			
特になし。			
参考書・参考資料等			
授業における使用言語			
日本語。			
キーワード			

開講科目名	学位論文指導演習II		
担当教員	指導教員	開講区分	単位数
		通年	2単位

授業のテーマと到達目標

学位論文の作成指導を行う。

授業の概要と計画

中間報告、発表、討議、添削を繰り返します。

成績評価と基準

指摘箇所を適切に改善するかどうか、論文作成上の技術的なポイント、論文の質などを総合的に考慮して判定する。

履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）

毎回、十分な準備を行うこと。

オフィスアワー・連絡先

随時。事前にメールでアポイントメントをとってください。umeya[at]people.kobe-u.ac.jp

学生へのメッセージ

各自の指導教員と綿密に連絡をとってください。

今年度の工夫

学会や研究会での報告を目標に指導する

教科書

作成中の受講生の学位論文。

参考書・参考資料等

適宜紹介する。

授業における使用言語

日本語

キーワード

開講科目名	学位論文指導演習Ⅲ		
担当教員	指導教員	開講区分	単位数
		通年	2単位
授業のテーマと到達目標			
学位論文作成のための指導を行なう。			
授業の概要と計画			
学位論文のテーマに基づく。			
成績評価と基準			
提出論文による（100%）			
履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）			
毎回、十分な準備を行うこと。			
オフィスアワー・連絡先			
指導教員のHPを参照。			
学生へのメッセージ			
<div style="border: 1px solid black; height: 150px; width: 100%;"></div>			
今年度の工夫			
<div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div>			
教科書			
特になし。			
参考書・参考資料等			
<div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div>			
授業における使用言語			
日本語。			
キーワード			
<div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div>			

開講科目名	学位論文指導演習I		
担当教員	指導教員	開講区分	単位数
		通年	2単位
授業のテーマと到達目標 基礎論文を完成させるための指導演習です。 いわば博士論文へのファーストステップです。			
授業の概要と計画 学生と相談のうえ決めます。			
成績評価と基準 平常点（積極的取り組み）100%			
履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む） 課題に積極的に取り組むこと。			
オフィスアワー・連絡先 指導教員に確認してください。			
学生へのメッセージ 特になし。			
今年度の工夫 			
教科書 			
参考書・参考資料等 			
授業における使用言語 日本語			
キーワード 基礎論文			

開講科目名	学位論文指導演習II		
担当教員	指導教員	開講区分	単位数
		通年	2単位
授業のテーマと到達目標 予備論文を完成させるための指導演習です。 いわば博士論文へのセカンドステップです。			
授業の概要と計画 学生と相談のうえ決めます。			
成績評価と基準 平常点（積極的取り組み）100%			
履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む） 課題に積極的に取り組むこと。			
オフィスアワー・連絡先 指導教員と相談して決めてください。			
学生へのメッセージ 特になし。			
今年度の工夫 			
教科書 			
参考書・参考資料等 			
授業における使用言語 日本語			
キーワード 予備論文			

開講科目名	学位論文指導演習Ⅲ		
担当教員	指導教員	開講区分	単位数
		通年	2単位

授業のテーマと到達目標

博士論文を完成させるための指導演習です。
いわば博士論文へのサードステップです。

授業の概要と計画

学生と相談のうえ決めます。

成績評価と基準

平常点（積極的取り組み）100%

履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）

課題に積極的に取り組むこと。

オフィスアワー・連絡先

指導教員と相談のうえ決めてください。

学生へのメッセージ

特になし。

今年度の工夫

教科書

参考書・参考資料等

授業における使用言語

日本語

キーワード

博士論文

開講科目名	学位論文指導演習I		
担当教員	指導教員	開講区分	単位数
		通年	2単位

授業のテーマと到達目標

本演習は、博士基礎論文完成に向けて、論文・研究指導を行うことを目的とする。

授業の概要と計画

基礎論文完成に向けて、各受講者に自らの研究計画および論文草稿の発表をしてもらい、指導教員との討議を通じて、研究の深化を図る。

成績評価と基準

- (1) 発表 (20%)
- (2) 発表時の提出原稿 (20%)
- (3) 質疑応答の内容 (30%)
- (4) 演習に際して指摘された修正箇所の改善 (30%)

* 成績評価の前提は、発表を行うことである。したがって発表をしなかった者は、成績評価の対象とはならない。

履修上の注意 (準備学習・復習、関連科目情報等を含む)

演習に際して指摘された修正箇所の修正には、必ず応えること。

オフィスアワー・連絡先

別途、受講者に伝える。

学生へのメッセージ

今年度の工夫

教科書

特になし。

参考書・参考資料等

演習の際に、適宜伝える。

授業における使用言語

日本語

キーワード

開講科目名	学位論文指導演習II		
担当教員	指導教員	開講区分	単位数
		通年	2単位
授業のテーマと到達目標			
本演習は、博士予備論文完成に向けて、論文・研究指導を行うことを目的とする。			
授業の概要と計画			
予備論文完成に向けて、各受講者に自らの研究計画および論文草稿の発表をしてもらい、指導教員との討議を通じて、研究の深化を図る。			
成績評価と基準			
成績評価は、以下の諸点をもとに総合的に判断する。			
(1) 発表(20%)			
(2) 発表時の提出原稿(20%)			
(3) 質疑応答の内容(30%)			
(4) 演習に際して指摘された修正箇所(30%)			
* 成績評価の前提は、発表を行うことである。したがって発表をしなかった者は、成績評価の対象とはならない。			
履修上の注意(準備学習・復習、関連科目情報等を含む)			
演習に際して指摘された修正箇所の修正には、必ず応えること。			
オフィスアワー・連絡先			
別途、受講者に伝える。			
学生へのメッセージ			
今年度の工夫			
教科書			
参考書・参考資料等			
演習の際に、適宜伝える。			
授業における使用言語			
日本語			
キーワード			

開講科目名	学位論文指導演習Ⅲ		
担当教員	指導教員	開講区分	単位数
		通年	2単位

授業のテーマと到達目標

本演習は、博士予備審査論文完成に向けて、論文・研究指導を行うことを目的とする。

授業の概要と計画

予備審査論文完成に向けて、各受講者に自らの研究計画および論文草稿の発表をしてもらい、指導教員との討議を通じて、研究の深化を図る。

成績評価と基準

成績評価は、以下の諸点をもとに総合的に判断する。

- (1) 発表(20%)
- (2) 発表時の提出原稿(20%)
- (3) 質疑応答の内容(30%)
- (4) 演習に際して指摘された修正箇所改善(30%)

* 成績評価の前提は、発表を行うことである。したがって発表をしなかった者は、成績評価の対象とはならない。

履修上の注意(準備学習・復習、関連科目情報等を含む)

演習に際して指摘された修正箇所の修正には、必ず応えること。

オフィスアワー・連絡先

別途、受講者に伝える。

学生へのメッセージ

今年度の工夫

教科書

特になし。

参考書・参考資料等

演習の際に、適宜伝える。

授業における使用言語

日本語

キーワード

開講科目名	学位論文指導演習I		
担当教員	指導教員	開講区分	単位数
		通年	2単位
授業のテーマと到達目標			
学位論文作成のための指導を行なう。			
授業の概要と計画			
学位論文のテーマに基づく。			
成績評価と基準			
提出論文による(100%)			
履修上の注意(準備学習・復習、関連科目情報等を含む)			
オフィスアワー・連絡先			
指導教員のHPを参照。			
学生へのメッセージ			
今年度の工夫			
教科書			
特になし。			
参考書・参考資料等			
授業における使用言語			
日本語。			
キーワード			

開講科目名	学位論文指導演習II		
担当教員	指導教員	開講区分	単位数
		通年	2単位
授業のテーマと到達目標 学位論文作成のための指導を行なう。			
授業の概要と計画 学位論文のテーマに基づく。			
成績評価と基準 提出論文による（100%）			
履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む） 			
オフィスアワー・連絡先 指導教員のHPを参照。			
学生へのメッセージ 			
今年度の工夫 			
教科書 特になし。			
参考書・参考資料等 			
授業における使用言語 日本語。			
キーワード 			

開講科目名	学位論文指導演習Ⅲ		
担当教員	指導教員	開講区分	単位数
		通年	2単位
授業のテーマと到達目標			
学位論文作成のための指導を行なう。			
授業の概要と計画			
学位論文のテーマに基づく。			
成績評価と基準			
提出論文による（100%）			
履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）			
オフィスアワー・連絡先			
指導教員のHPを参照。			
学生へのメッセージ			
今年度の工夫			
教科書			
特になし。			
参考書・参考資料等			
授業における使用言語			
日本語。			
キーワード			

開講科目名	学位論文指導演習I		
担当教員	指導教員	開講区分	単位数
		通年	2単位
授業のテーマと到達目標			
国際関係・比較政治論コースとして、博士論文作成に向けての指導を行う。			
授業の概要と計画			
コースの教員全員参加の下、学生の研究報告とそれに対する議論を中心に行う。学生は、学期内に数回の報告を行う。			
成績評価と基準			
報告の内容、議論への参加の度合いにより評価する。			
履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）			
博士論文の作成については、指導教員とよく相談し、加えてコース教員の助言を求めながら行うこと。			
オフィスアワー・連絡先			
指導生には指導教員から直接通知する。			
学生へのメッセージ			
自分の研究テーマや専門分野を追究するとともに、他分野への関心を深め、幅広い視野を涵養すること。			
今年度の工夫			
教科書			
参考書・参考資料等			
授業における使用言語			
日本語あるいは英語			
キーワード			
国際関係 比較政治論 国際政治学 政策論 政治文化論 政治経済論 安全保障論 地域研究論			

開講科目名	学位論文指導演習II		
担当教員	指導教員	開講区分	単位数
		通年	2単位
授業のテーマと到達目標			
国際関係・比較政治論コースとして、博士論文作成に向けての指導を行う。			
授業の概要と計画			
コースの教員全員参加の下、学生の研究報告とそれに対する議論を中心に行う。学生は、学期内に数回の報告を行う。			
成績評価と基準			
報告の内容、議論への参加の度合いにより評価する。			
履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）			
博士論文の作成については、指導教員とよく相談し、加えてコース教員の助言を求めながら行うこと。			
オフィスアワー・連絡先			
指導生には指導教員から直接通知する。			
学生へのメッセージ			
自分の研究テーマや専門分野を追究するとともに、他分野への関心を深め、幅広い視野を涵養すること。			
今年度の工夫			
教科書			
参考書・参考資料等			
授業における使用言語			
日本語あるいは英語			
キーワード			
国際関係 比較政治論 国際政治学 政策論 政治文化論 政治経済論 安全保障論			

開講科目名	学位論文指導演習Ⅲ		
担当教員	指導教員	開講区分	単位数
		通年	2単位
授業のテーマと到達目標			
国際関係・比較政治論コースとして、博士論文作成に向けての指導を行う。			
授業の概要と計画			
コースの教員全員参加の下、学生の研究報告とそれに対する議論を中心に行う。学生は、学期内に数回の報告を行う。			
成績評価と基準			
報告の内容、議論への参加の度合いにより評価する。			
履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）			
博士論文の作成については、指導教員とよく相談し、加えてコース教員の助言を求めながら行うこと。			
オフィスアワー・連絡先			
指導生には指導教員から直接通知する。			
学生へのメッセージ			
自分の研究テーマや専門分野を追究するとともに、他分野への関心を深め、幅広い視野を涵養すること。			
今年度の工夫			
教科書			
参考書・参考資料等			
授業における使用言語			
日本語あるいは英語			
キーワード			
国際関係 比較政治論 国際政治学 政策論 政治文化論 政治経済論 安全保障論			

開講科目名	学位論文指導演習I		
担当教員	指導教員	開講区分	単位数
		通年	2単位

授業のテーマと到達目標

博士論文の執筆指導。3年間の研究計画をもとに1年目は「基礎論文」の執筆に向けた指導を行う。

授業の概要と計画

各指導教員の演習と集団指導を組合せて行う。各教員の演習ではテーマに関連した文献や資料を読み込むことを中心にし、集団指導では論文の構成について参加者と議論しながら進める。

成績評価と基準

平常点評価と論文評価を50パーセントずつ。

履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）

主たる指導教員だけでなく、コース教員全員と密に連絡を取るよう心がけてください。

オフィスアワー・連絡先

各教員研究室。

学生へのメッセージ

今年度の工夫

研究計画の再点検を逐次行い、柔軟に軌道修正する可能性も追求する。

教科書

参考書・参考資料等

授業における使用言語

日本語

キーワード

開講科目名	学位論文指導演習II		
担当教員	指導教員	開講区分	単位数
		通年	2単位
授業のテーマと到達目標			
博士論文の執筆指導。3年間の研究計画をもとに、2年目の「予備論文」執筆に向けた指導を行う。とくに学会誌などへの投稿を目指す。			
授業の概要と計画			
各指導教員による文献読解を中心にした演習と、コース全体で行う発表形式の集団指導を組み合わせる。			
成績評価と基準			
平常点評価と論文評価を50パーセントずつ。			
履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）			
主たる指導教員だけでなく、コースの教員全員と密に連絡を取るよう心がけてください。			
オフィスアワー・連絡先			
各研究室			
学生へのメッセージ			
今年度の工夫			
集団指導時のプレゼンテーションを重視し、討論を通じて柔軟に軌道修正できるようにする。			
教科書			
参考書・参考資料等			
授業における使用言語			
日本語			
キーワード			

開講科目名	学位論文指導演習Ⅲ		
担当教員	指導教員	開講区分	単位数
		通年	2単位
授業のテーマと到達目標			
博士論文の執筆指導。論文完成に向け、各人に合わせたきめ細かい指導を行う。同時に学会誌投稿論文を別途書いてもらいます。			
授業の概要と計画			
各指導教員により、論文の各章構成を練り上げるとともに、集団指導によりそれを軌道修正する。			
成績評価と基準			
平常点評価と論文評価を50パーセントずつ。			
履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）			
主たる指導教員だけでなく、コース教員全員と密に連絡を取るよう心がけてください。			
オフィスアワー・連絡先			
各研究室。			
学生へのメッセージ			
今年度の工夫			
コース全教員へのプレゼンテーションの回数を増やします。			
教科書			
参考書・参考資料等			
授業における使用言語			
日本語			
キーワード			

開講科目名	学位論文指導演習I		
担当教員	指導教員	開講区分	単位数
		通年	2単位
授業のテーマと到達目標			
学位論文とは何か、テーマの決定、調査研究方法の検討、研究計画の精査、執筆の技術について 研究計画の提出、コロキウムでの発表に向けた基礎論文執筆			
授業の概要と計画			
文献整理・調査、資料調査・検索、執筆要綱等の指導を踏まえ、各自のテーマ決定と研究計画を精査する			
成績評価と基準			
理解、進展、暫定的達成			
履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）			
オフィスアワー・連絡先			
各指導教員のOHと連絡先を確認すること			
学生へのメッセージ			
今年度の工夫			
教科書			
参考書・参考資料等			
授業における使用言語			
日本語。必要に応じて英語			

キーワード

開講科目名	学位論文指導演習II		
担当教員	指導教員	開講区分	単位数
		通年	2単位
授業のテーマと到達目標 学位論文作成の中間過程をモニタリングする。 予備論文提出とコロキウム2での報告			
授業の概要と計画 研究、調査、執筆状況の中間照査			
成績評価と基準 理解、進展、達成			
履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む） 			
オフィスアワー・連絡先 各指導教員のOHと連絡先を参照すること			
学生へのメッセージ 			
今年度の工夫 			
教科書 			
参考書・参考資料等 			
授業における使用言語 日本語。必要に応じて英語。			

キーワード

開講科目名	学位論文指導演習Ⅲ		
担当教員	指導教員	開講区分	単位数
		通年	2単位
授業のテーマと到達目標			
学位論文完成に向けての指導およびコロキアム3と最終試験の準備指導			
授業の概要と計画			
各自の進捗状況のモニタリングと博士論文完成に向けた指導			
成績評価と基準			
進展と達成			
履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）			
オフィスアワー・連絡先			
各指導教員のOHと連絡先を参照すること			
学生へのメッセージ			
今年度の工夫			
教科書			
参考書・参考資料等			
授業における使用言語			
日本語。必要に応じて英語。			

キーワード

開講科目名	学位論文指導演習I		
担当教員	指導教員	開講区分	単位数
		通年	2単位
授業のテーマと到達目標			
芸術文化論コースとして、学位論文を作成するために必要な研究指導を行なう。			
授業の概要と計画			
博士基礎論文提出とコロキウムIに向けて、指導教員を中心にコース全体の教員が各自に必要な支援を行なう。			
成績評価と基準			
論文の進行状況、コース内での発表、コロキウム等を踏まえて、総合的に判断する。			
履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）			
オフィスアワー・連絡先			
指導教員より通知する。			
学生へのメッセージ			
今年度の工夫			
教科書			
参考書・参考資料等			
授業における使用言語			
日本語			

キーワード

開講科目名	学位論文指導演習II		
担当教員	指導教員	開講区分	単位数
		通年	2単位
授業のテーマと到達目標			
芸術文化論コースとして、学位論文を作成するために必要な研究指導を行なう。			
授業の概要と計画			
博士予備論文提出とコロキウム2に向けて、指導教員を中心にコース全体の教員が各自に必要な支援を行なう。			
成績評価と基準			
論文の進行状況、コース内での発表、コロキウム等を踏まえて、総合的に判断する。			
履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）			
オフィスアワー・連絡先			
指導教員より通知する。			
学生へのメッセージ			
今年度の工夫			
教科書			
参考書・参考資料等			
授業における使用言語			
日本語			

キーワード

開講科目名	学位論文指導演習Ⅲ		
担当教員	指導教員	開講区分	単位数
		通年	2単位
授業のテーマと到達目標			
芸術文化論コースとして、学位論文を作成するために必要な研究指導を行なう。			
授業の概要と計画			
博士論文提出とコロキウム3に向けて、指導教員を中心にコース全体の教員が各自に必要な支援を行なう。			
成績評価と基準			
論文の進行状況、コースでの発表、コロキウム等を踏まえて、総合的に判断する。			
履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）			
オフィスアワー・連絡先			
指導教員より通知する。			
学生へのメッセージ			
今年度の工夫			
教科書			
参考書・参考資料等			
授業における使用言語			
日本語			

キーワード

開講科目名	学位論文指導演習I		
担当教員	指導教員	開講区分	単位数
		通年	2単位
授業のテーマと到達目標			
学位論文を作成するために必要な研究指導を行う。			
授業の概要と計画			
45分程度の発表と、コース所属教員との質疑応答45分程度で1回の授業を構成する。			
成績評価と基準			
発表の出来と、質問に対する応答の内容によって評価する。			
履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）			
オフィスアワー・連絡先			
各指導教員に連絡して下さい。			
学生へのメッセージ			
今年度の工夫			
教科書			
参考書・参考資料等			
授業における使用言語			
日本語			

キーワード

開講科目名	学位論文指導演習II		
担当教員	指導教員	開講区分	単位数
		通年	2単位
授業のテーマと到達目標			
学位論文を作成するために必要な研究指導を行う。			
授業の概要と計画			
45分程度の発表と45分程度の質疑応答で1回の授業を行う。			
成績評価と基準			
発表の内容と、質問に対する応答の内容によって評価する。			
履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）			
オフィスアワー・連絡先			
各指導教員に連絡して下さい。			
学生へのメッセージ			
今年度の工夫			
教科書			
参考書・参考資料等			
授業における使用言語			
日本語			

キーワード

開講科目名	学位論文指導演習Ⅲ		
担当教員	指導教員	開講区分	単位数
		通年	2単位
授業のテーマと到達目標 学位論文を作成する為に必要な研究指導を行う。			
授業の概要と計画 学生の発表とそれに対する質疑応答で一回の授業を構成する。			
成績評価と基準 発表の出来と、質問に対する応答の内容によって評価する。			
履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む） 			
オフィスアワー・連絡先 各指導教員に連絡して下さい。			
学生へのメッセージ 			
今年度の工夫 			
教科書 			
参考書・参考資料等 			
授業における使用言語 日本語			

キーワード

開講科目名	学位論文指導演習I		
担当教員	指導教員	開講区分	単位数
		通年	2単位
授業のテーマと到達目標 コースワーク型教育プログラムの学生を対象に、博士基礎論文の感性に向けて、研究指導を行う。			
授業の概要と計画 コースによる共同演習形式			
成績評価と基準 プリゼンテーションと論文の合算			
履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む） 			
オフィスアワー・連絡先 			
学生へのメッセージ 			
今年度の工夫 			
教科書 			
参考書・参考資料等 			
授業における使用言語 日本語、英語			

キーワード

博士基礎論文

開講科目名	学位論文指導演習II		
担当教員	指導教員	開講区分	単位数
		通年	2単位
授業のテーマと到達目標			
コースワーク型教育プログラムの学生を対象に、博士予備論文の完成に向けて、感性コースによる共同研究指導を行う。			
授業の概要と計画			
共同演習形式			
成績評価と基準			
演習における発表と博士予備論文			
履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）			
博士基礎論文を書いていることが必須要件			
オフィスアワー・連絡先			
学生へのメッセージ			
今年度の工夫			
教科書			
参考書・参考資料等			
授業における使用言語			
日本語、英語			
キーワード			
博士予備論文			

開講科目名	学位論文指導演習Ⅲ		
担当教員	指導教員	開講区分	単位数
		通年	2単位
授業のテーマと到達目標			
コースワーク型教育プログラムの学生を対象に、予備審査博士論文の完成にむけて、感性コースにおいて共同の研究指導を行う。			
授業の概要と計画			
共同研究形式による研究指導			
成績評価と基準			
発表と予備審査博士論文			
履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）			
博士予備論文が必須要件			
オフィスアワー・連絡先			
学生へのメッセージ			
今年度の工夫			
教科書			
参考書・参考資料等			
授業における使用言語			
日本語、英語			
キーワード			
予備審査用博士論文			

開講科目名	学位論文指導演習I		
担当教員	指導教員	開講区分	単位数
		通年	2単位
授業のテーマと到達目標			
博士論文を書くための最初のステップです。まず論文を書いて、ジャーナルに投稿します。			
授業の概要と計画			
個々の授業計画は学生の研究テーマごとに異なります。			
成績評価と基準			
投稿論文が書けて投稿するところまでいけばパスです。			
履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）			
投稿論文作成へ向けて、授業前の準備、指導に基づいた学習を行ってください。			
オフィスアワー・連絡先			
学生へのメッセージ			
今年度の工夫			
教科書			
ありません			
参考書・参考資料等			
学生に直接指示します。			
授業における使用言語			
日本語が主ですが、英語も使用可能です。			
キーワード			

開講科目名	学位論文指導演習II		
担当教員	指導教員	開講区分	単位数
		通年	2単位
授業のテーマと到達目標			
博士論文を書くための2段階目のステップです。投稿論論文の作成、博士予備論文の作成を指導します。			
授業の概要と計画			
個々の授業計画は学生の研究テーマごとに異なります。			
成績評価と基準			
投稿論文が書いて投稿するところまでいけばパスです。			
履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）			
十分な準備学習、指導に基づいた復習が必要です。			
オフィスアワー・連絡先			
学生へのメッセージ			
健康に留意してください。			
今年度の工夫			
教科書			
ありません			
参考書・参考資料等			
学生に直接指示します。			
授業における使用言語			
日本語が主ですが、英語も使用可能です。			
キーワード			

開講科目名	学位論文指導演習Ⅲ		
担当教員	指導教員	開講区分	単位数
		通年	2単位
授業のテーマと到達目標 博士論文を書くための最後のステップです。博士論文を完成させます。			
授業の概要と計画 個々の授業計画は学生の研究テーマごとに異なります。			
成績評価と基準 博士論文が完成するところまでいけばパスです。			
履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む） 指導コメントに従って、完成度の高い博士論文を作成してください。			
オフィスアワー・連絡先 			
学生へのメッセージ 健康に留意してください。			
今年度の工夫 			
教科書 ありません			
参考書・参考資料等 学生に直接指示します。			
授業における使用言語 日本語が主ですが、英語も使用可能です。			
キーワード 			

開講科目名	学位論文指導演習I		
担当教員	指導教員	開講区分	単位数
		通年	2単位
授業のテーマと到達目標			
一年次向けに博士論文作成の指導を行う。			
授業の概要と計画			
各学生の年次および、論文の進行状況に合わせて、コース担当教員全体による指導を行う。			
成績評価と基準			
論文の進行状況および中間発表、コロキウム等を踏まえて、総合的に行う。			
履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）			
オフィスアワー・連絡先			
学生教務係で確認すること			
学生へのメッセージ			
今年度の工夫			
教科書			
参考書・参考資料等			
授業における使用言語			

キーワード

開講科目名	学位論文指導演習II		
担当教員	指導教員	開講区分	単位数
		通年	2単位
授業のテーマと到達目標 二年次向けに博士論文作成の指導を行う。			
授業の概要と計画 各学生の年次および、論文の進行状況に合わせて、コース担当教員全体による指導を行う。			
成績評価と基準 論文の進行状況および中間発表、コロキウム等を踏まえて、総合的に行う。			
履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む） 			
オフィスアワー・連絡先 教務学生係で確認すること			
学生へのメッセージ 			
今年度の工夫 			
教科書 			
参考書・参考資料等 			
授業における使用言語 			

キーワード

開講科目名	学位論文指導演習Ⅲ		
担当教員	指導教員	開講区分	単位数
		通年	2単位

授業のテーマと到達目標

三年次向けに博士論文作成の指導を行う。

授業の概要と計画

各学生の年次および、論文の進行状況に合わせて、コース担当教員全体による指導を行う。

成績評価と基準

論文の進行状況および中間発表、コロキウム等を踏まえて、総合的に行う。

履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）

オフィスアワー・連絡先

教務学生係で確認すること

学生へのメッセージ

今年度の工夫

教科書

参考書・参考資料等

授業における使用言語

キーワード

開講科目名	学位論文指導演習I		
担当教員	指導教員	開講区分	単位数
		通年	2単位
授業のテーマと到達目標			
<p>テーマ： チュートリアルゼミ</p> <p>到達目標： 担当教員とのディスカッションをふまえ、各自の論文の完成度を向上させる。</p>			
授業の概要と計画			
<p>授業概要： 論文進捗状況を学生が報告し、その内容についてディスカッションを行う。</p> <p>授業計画： 毎回、受講生の全員が、各自の論文の進捗状況について報告する。その後、ディスカッションを行う。</p>			
成績評価と基準			
<p>下記を総合的に評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎回の論文進捗報告 ・ディスカッション ・クリティカルコメント 			
履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）			
受講希望者は、開講前に教員にメールで連絡を取ること。			
オフィスアワー・連絡先			
<p>研究室 D622</p> <p>メール yamato@port.kobe-u.ac.jp 件名（subject）を明記のこと。</p>			
学生へのメッセージ			
研究とはなにか、どのように研究を進めていけばいいのか、ゼミの先輩や仲間と悩みを語り合う中で自分自身の研究の方向性をつかんでもらえればと思います。			
今年度の工夫			
昨年度までの実践をふまえ、学外学会での研究発表への応募に備えた指導を加えていきます。			
教科書			
関連論文などは授業内で指示します。			
参考書・参考資料等			
授業における使用言語			
日本語または必要に応じて英語			
キーワード			
ゼミ，論文作成法，リサーチデザイン			

開講科目名	学位論文指導演習II		
担当教員	指導教員	開講区分	単位数
		通年	2単位
授業のテーマと到達目標			
<p>テーマ： チュートリアルゼミ</p> <p>到達目標： 担当教員とのディスカッションをふまえ、各自の論文の完成度を向上させる。</p>			
授業の概要と計画			
<p>授業概要： 論文進捗状況を学生が報告し、その内容についてディスカッションを行う。</p> <p>授業計画： 毎回、受講生の全員が、各自の論文の進捗状況について報告する。その後、ディスカッションを行う。</p>			
成績評価と基準			
<p>下記を総合的に評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎回の論文進捗報告 ・ディスカッション ・クリティカルコメント 			
履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）			
受講希望者は、開講前に教員にメールで連絡を取ること。			
オフィスアワー・連絡先			
<p>研究室 D622</p> <p>メール yamato@port.kobe-u.ac.jp 件名（subject）を明記のこと。</p>			
学生へのメッセージ			
研究とはなにか、どのように研究を進めていけばいいのか、ゼミの先輩や仲間と悩みを語り合う中で自分自身の研究の方向性をつかんでもらえればと思います。			
今年度の工夫			
昨年度までの実践をふまえ、学外学会での研究発表への応募に備えた指導を加えていきます。			
教科書			
関連論文などは授業内で指示します。			
参考書・参考資料等			
授業における使用言語			
日本語または必要に応じて英語			
キーワード			
ゼミ，論文作成法，リサーチデザイン			

開講科目名	学位論文指導演習Ⅲ		
担当教員	指導教員	開講区分	単位数
		通年	2単位
授業のテーマと到達目標			
<p>テーマ： チュートリアルゼミ</p> <p>到達目標： 担当教員とのディスカッションをふまえ、各自の論文の完成度を向上させる。</p>			
授業の概要と計画			
<p>授業概要： 論文進捗状況を学生が報告し、その内容についてディスカッションを行う。</p> <p>授業計画： 毎回、受講生の全員が、各自の論文の進捗状況について報告する。その後、ディスカッションを行う。</p>			
成績評価と基準			
<p>下記を総合的に評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎回の論文進捗報告 ・ディスカッション ・クリティカルコメント 			
履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）			
受講希望者は、開講前に教員にメールで連絡を取ること。			
オフィスアワー・連絡先			
<p>研究室 D622</p> <p>メール yamato@port.kobe-u.ac.jp 件名（subject）を明記のこと。</p>			
学生へのメッセージ			
研究とはなにか、どのように研究を進めていけばいいのか、ゼミの先輩や仲間と悩みを語り合う中で自分自身の研究の方向性をつかんでもらえればと思います。			
今年度の工夫			
昨年度までの実践をふまえ、学外学会での研究発表への応募に備えた指導を加えていきます。			
教科書			
関連論文などは授業内で指示します。			
参考書・参考資料等			
授業における使用言語			
日本語または必要に応じて英語			
キーワード			
ゼミ，論文作成法，リサーチデザイン			

開講科目名	プロジェクト指導演習III		
担当教員	藤野 一夫、指導教員	開講区分	単位数
		通年	2単位
授業のテーマと到達目標 研究テーマと方法論に合わせて懇切丁寧に指導します。			
授業の概要と計画 			
成績評価と基準 			
履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む） 			
オフィスアワー・連絡先 随時・要連絡 fujino@kobe-u.ac.jp			
学生へのメッセージ 			
今年度の工夫 			
教科書 			

参考書・参考資料等

--

授業における使用言語

--

キーワード

--

開講科目名	学位論文コロキウム（予備審査用博士論文）		
担当教員	教授会	開講区分	単位数
		前期	2単位
授業のテーマと到達目標			
<input type="text" value="<作成中>"/>			
授業の概要と計画			
<input type="text" value="<作成中>"/>			
成績評価と基準			
<input type="text" value="<作成中>"/>			
履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）			
<input type="text" value="<作成中>"/>			
オフィスアワー・連絡先			
<input type="text" value="<作成中>"/>			
学生へのメッセージ			
<input type="text" value="<作成中>"/>			
今年度の工夫			
<input type="text" value="<作成中>"/>			
教科書			
<input type="text" value="<作成中>"/>			
参考書・参考資料等			
<input type="text" value="<作成中>"/>			
授業における使用言語			
<input type="text" value="<作成中>"/>			
キーワード			
<input type="text" value="<作成中>"/>			

開講科目名	博士論文		
担当教員	教授会	開講区分	単位数
		前期	

授業のテーマと到達目標

<作成中>

授業の概要と計画

<作成中>

成績評価と基準

<作成中>

履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）

<作成中>

オフィスアワー・連絡先

<作成中>

学生へのメッセージ

<作成中>

今年度の工夫

<作成中>

教科書

<作成中>

参考書・参考資料等

<作成中>

授業における使用言語

<作成中>

キーワード

<作成中>

開講科目名	アメリカ言語映像文化論特別演習		
担当教員	西谷 拓哉	開講区分	単位数
		後期	2単位
授業のテーマと到達目標			
Herman Melville, Moby-Dick (1851)を読むことを通して、1850年代アメリカの文化的、社会的状況を考察する。			
授業の概要と計画			
一回の授業で20ページ程度読み進む。受講生の報告に基づき、作品解釈とともに当時のアメリカの文化的、社会的状況について議論する。			
成績評価と基準			
平常のクラスでの活動・貢献(50%)と期末レポート(50%)を総合して判断する。			
履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）			
テキストを注意深く読むこと。			
オフィスアワー・連絡先			
takuyan@kobe-u.ac.jp			
研究室E202			
学生へのメッセージ			
今年度の工夫			
古典的作品による19世紀アメリカの理解			
教科書			
Herman Melville, Moby-Dick (Norton Critical Edition)			
参考書・参考資料等			
授業における使用言語			
日本語			
キーワード			

開講科目名	日本社会変容論特別演習		
担当教員	長 志珠絵	開講区分	単位数
		後期	2単位
授業のテーマと到達目標			
視座としての歴史研究およびジェンダー射程を用いることで、各自の課題を広げる。			
授業の概要と計画			
受講生は、自分の興味に応じてテーマを設定し、それに関する先行研究を収集、分析すると同時に、具体的な事例をとりあげ、自ら実際に取材、分析し、考察を深める。最終的に、レポートにまとめる。			
成績評価と基準			
平常点評価			
履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）			
オフィスアワー・連絡先			
長志珠絵(Osa,Shizue) 研究室E207．オフィスアワーは随時．事前にs.osa（アットマーク）people.kobe-u.ac.jp まで連絡してください．			
学生へのメッセージ			
今年度の工夫			
教科書			
参考書・参考資料等			
授業における使用言語			
日本語			

キーワード

開講科目名	科学技術文明論特別演習		
担当教員	三浦 伸夫	開講区分	単位数
		後期	2単位
授業のテーマと到達目標			
中世科学史			
授業の概要と計画			
中世科学史に関する英文論文を読み合わせる．科学の内容というよりは，その背景（大学制度，翻訳問題，神学との関係など）に重点を置く．			
成績評価と基準			
参加発表点（準備，発表法，など）．			
履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）			
西洋中世史および科学史一般の基本的知識が必要です．参加者は事前に準備下さい．			
オフィスアワー・連絡先			
事前連絡の上相談			
学生へのメッセージ			
学術の移転，学問分類論などを中心とします．			
今年度の工夫			
教科書			
講義中に指示します			
参考書・参考資料等			
講義中に指示します．			
授業における使用言語			
日本語			
キーワード			
西洋中世史，科学史，思想史			

開講科目名	古代越境文化論特別演習		
担当教員	山澤 孝至	開講区分	単位数
		後期	2単位
授業のテーマと到達目標 古代ギリシア・ローマ文化に関する欧文テキストを講読する。			
授業の概要と計画 学位論文作成に重要と思われる文献を取り上げ、批判的に精読する。			
成績評価と基準 授業への参加50%、期末レポート50%。			
履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む） 			
オフィスアワー・連絡先 yamasawa@kobe-u.ac.jp			
学生へのメッセージ 			
今年度の工夫 			
教科書 テキストは、担当者が用意する。			
参考書・参考資料等 			
授業における使用言語 日本語。			
キーワード 			

開講科目名	現代人類学特別演習		
担当教員	柴田 佳子	開講区分	単位数
		後期	2単位

授業のテーマと到達目標

現代的テーマを扱いたい受講生の関心にそって、文献資料の解読、議論をし、各自の問題意識や視座への考察を深める。

授業の概要と計画

各自の関心に沿った文献資料購読、発表、議論

成績評価と基準

平常点評価（テキスト読解と発表、ほかの参加者の発表へのコメント、ディスカッションの内容）
60%
期末レポート（形式と内容の洗練度や深さ） 40%

履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）

他の人類学関連の授業も受講することが望ましい。
文献購読において深い理解が求められるため、関係する他の文献なども参照しておくこと。

オフィスアワー・連絡先

随時、ただし事前にメールなどでアポイントメントをとってください。yoshibat@kobe-u.ac.jp

学生へのメッセージ

今年度の工夫

受講生のニーズに合致する内容を盛り込む

教科書

授業にて指示する

参考書・参考資料等

授業にて提示する

授業における使用言語

日本語

キーワード

グローバル化、はざま、複数性、フィールドワーク

開講科目名	比較地域政治論特別演習		
担当教員	安岡 正晴	開講区分	単位数
		後期	2単位

授業のテーマと到達目標

本演習では、アメリカの政治学会誌に掲載された最新の英文論文を輪読することを通じて、政治学の最新研究動向を学び、実証的な政治学の専門的研究手法を身につけることを目標としたい。

授業の概要と計画

具体的には、American Political Science Review, American Journal of Political Scienceなどのアメリカの政治学会誌に掲載された最新の英文論文を毎回1本(15-20頁程度)読みながら、政治学の最新研究動向を学び、実証的な政治学の専門的研究手法を紹介、指導したい。

成績評価と基準

授業中の発表 60%
レポート 40%

で総合的に評価する。

履修上の注意(準備学習・復習、関連科目情報等を含む)

授業は毎回、学会誌の論文を輪読する形で進めるので、毎週論文1本を事前に通読してくることが求められる。なお受講者は、基礎統計学や社会調査法の知識をもっていることが望ましい。

オフィスアワー・連絡先

オフィスアワー：水、金の昼休み、他は要予約
研究室 E409
E-mail yasuoka@kobe-u.ac.jp

学生へのメッセージ

最先端の政治学の論文がどんなものか、勉強してみたい皆さんを歓迎します。

今年度の工夫

受講者の専門分野に応じた参考文献リストを第2回目の授業で紹介したい

教科書

テキストは授業で配布、指示する。

参考書・参考資料等

授業における使用言語

日本語

キーワード

開講科目名	アメリカ多民族社会形成論特別演習		
担当教員	井上 弘貴	開講区分	単位数
		後期	2単位

授業のテーマと到達目標

19世紀から20世紀のアメリカ政治外交史ないしはアメリカ政治思想史にかんする文献の講読を通して、アメリカ合衆国の歴史的形成過程を理解する。

授業の概要と計画

履修者の研究テーマに沿った英語文献を購読する。毎回、文献の内容把握を踏まえた後、履修者と教員とでその内容に沿って議論をおこなう。

成績評価と基準

平常点のみで評価をおこなう。評価にあたっては出席状況と講義への積極性を重視する。

履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）

毎回それなりの分量を講読範囲として指定するので、事前に十分な予習を求める。

オフィスアワー・連絡先

オフィスアワーの曜日、時間帯や連絡方法については講義のなかで説明する。

学生へのメッセージ

19世紀から20世紀のアメリカ合衆国史ないしはアメリカ思想史に関心のある学生の履修を歓迎する。

今年度の工夫

教科書

履修者の状況を踏まえて決定する。

参考書・参考資料等

講義のなかで適宜紹介する。

授業における使用言語

日本語

キーワード

アメリカ政治史 アメリカ政治思想史

開講科目名	民族学特別演習		
担当教員	梅屋 潔	開講区分	単位数
		後期	2単位

授業のテーマと到達目標

文化・社会人類学的なテーマあるいはそれに関連するテーマを扱う受講生を主な対象とする演習である。社会人類学の今日的可能性をともに追求したい。

授業の概要と計画

受講生の論文のテーマと執筆計画の進捗状況による。進捗状況によっては、基本的な文献や今日的な文献を講読して議論する。個人発表も行うが英文の購読も行う予定。

成績評価と基準

出席（積極的に参加しなければならない。70パーセント）とレポート（30パーセント）

履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）

ドラフト(草稿)を作成して持参すること。

オフィスアワー・連絡先

オフィスアワーは随時。事前にメールでアポイントメントをとること。連絡先は、umeya[at]people.kobe-u.ac.jp

学生へのメッセージ

今年度の工夫

適宜映像資料を使用し、異文化の状況が理解しやすいよう工夫する

教科書

Witchcraft Dialogues / Bond, G.C. & D.M.Ciekawy : Ohio University Press ,2001 ,ISBN:978-0896-802209

参考書・参考資料等

授業における使用言語

日本語

キーワード

開講科目名	日米文化交流論特別演習		
担当教員	遠田 勝	開講区分	単位数
		後期	2単位
授業のテーマと到達目標			
小泉八雲の日本時代の宗教論を越境文化論という観点から文献学的に再検討する。文献批判とテキストの文化的背景の理解を目的とする。			
授業の概要と計画			
初期の杵築論から晩年の『神国日本』までを日本アジア協会紀要の代表的論文と読み比べ、異文化からの解釈がいかに伝統文化を変容させるかを考察する。			
成績評価と基準			
期末レポート3割、期末テスト7割			
履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）			
事前に配布する資料を読み、授業後はそれをレポートにまとめること。			
オフィスアワー・連絡先			
学生へのメッセージ			
今年度の工夫			
教科書			
参考書・参考資料等			
授業における使用言語			
Japanese			

キーワード

開講科目名	比較政治社会論特別演習		
担当教員	阪野 智一	開講区分	単位数
		後期	2単位
授業のテーマと到達目標			
前半は、政策過程に焦点を当て、下記のテキストをもとに、政策過程研究の理論的、方法論的問題を議論し、習熟することを目標とする。後半は、各参加者が自分の関心とするテーマに関わる論文・著書を基礎に報告・議論し、博士論文作成に繋げていきたい。			
授業の概要と計画			
下記のテキストの節毎に、担当者による報告と参加者全員による質疑応答を中心に進めていく。政策過程に焦点を当てつつも、広く政治学的な分析手法とその理論的成果、問題点について考察する。1990年の著書とは言え、この分野における研究成果を本文は無論、脚注においても有意義な指摘が散りばめられており、各節毎に丹念に読みかつ考察することを勧める。 初回に担当を決めるので、受講希望者は是非出席してください。			
成績評価と基準			
報告 50% (報告の論理性、独創性、批判力など) 授業での活動 40% (ディスカッションへの参加度、質問力など) 出席点 10%			
履修上の注意 (準備学習・復習、関連科目情報等を含む)			
準備学習として報告の担当者は、自分が担当する章についてレジュメを作成すること、また他の履修者は疑問点を整理しておくことが求められる。復習として、各回の冒頭で前回の主要な論点について理解を確認する。			
オフィスアワー・連絡先			
毎週火曜日の昼休み。研究室 (E414)。 それ以外は事前にメールで連絡して下さい。 E-mail: sakano@kobe-u.ac.jp			
学生へのメッセージ			
今年度の工夫			
教科書			
政策過程 / 大嶽秀夫 : ,1990 ,ISBN:			
参考書・参考資料等			
授業における使用言語			
日本語			
キーワード			
政策過程 イシュー・アプローチ 官僚政治モデル 多元主義モデル 新制度論			

開講科目名	フランス文化表象論特別演習		
担当教員	坂本 千代	開講区分	単位数
		後期	2単位
授業のテーマと到達目標			
ヨーロッパにおける女性の表象に関する文献を読む。			
授業の概要と計画			
芸術、特に文学等に現れる女性についての文献を読む予定です。具体的なテキストは受講学生と相談のうえ決めます。また、学生の希望があればテーマ・内容を変更することも可能です。			
成績評価と基準			
平常点（出席、発表、授業への積極的参加・貢献など）			
履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）			
オフィスアワー・連絡先			
国際文化学研究科E215			
学生へのメッセージ			
今年度の工夫			
教科書			
特になし。			
参考書・参考資料等			
授業における使用言語			
日本語、フランス語			
キーワード			

開講科目名	社会人類学特別演習		
担当教員	吉岡 政徳	開講区分	単位数
		後期	2単位

授業のテーマと到達目標

学会誌などへの投稿論文の仕上げ作業という位置づけを与える。

授業の概要と計画

参加者各人が、自分の専門とする分野の学会誌などへの投稿論文のための発表を行い、他の参加者と質疑応答を行う。

成績評価と基準

発表や討論への参加、出席を総合的に判断して成績をつける。

履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）

オフィスアワー・連絡先

学生へのメッセージ

今年度の工夫

教科書

特に用いない。

参考書・参考資料等

適宜紹介する。

授業における使用言語

日本語

キーワード

開講科目名	日本伝承文化論特別演習		
担当教員	木下 資一	開講区分	単位数
		後期	2単位

授業のテーマと到達目標

『法華修法一百座聞書抄』を取り上げ、説話・伝承を研究するための演習講読を行う。その演習を通じ、高度な専門的知識、方法を学び、深める。

授業の概要と計画

天仁三年(1110)、大安寺においてある内親王の発願で法華経百座講経が開かれた。今期はその聞書きである『法華修法一百座聞書抄』を注釈しつつ読む。本書には中国仏教説話が多く引用されている。前年度の続きから読む。毎回交代で1人が1?数話の説話を取り上げ、注釈、発表する。参加者はそれをめぐり、質疑討論する。

成績評価と基準

討論2割・発表4割・期末レポート4割で評価する。

履修上の注意(準備学習・復習、関連科目情報等を含む)

日本平安時代史、中国古代中世史、日中交流史関連の歴史書や日本の平安、鎌倉、室町時代の文学作品などを多く読んでください。

オフィスアワー・連絡先

国際文化学研究科 E201 研究室(内線 7451)
kinosita@harbor.kobe-u.ac.jp

学生へのメッセージ

十分な準備をして、授業に臨んでください

今年度の工夫

博物館などで文献以外の資料を見る機会をもちたい

教科書

『法華修法一百座聞書抄』(勉誠出版・山岸徳平解題)
法華修法一百座聞書抄/山岸徳平解題:勉誠出版, ISBN:

参考書・参考資料等

授業における使用言語

日本語。古文、漢文も多用します。

キーワード

法華修法一百座聞書抄 法華経 平安時代
説話

開講科目名	東南アジア社会文化論特別演習		
担当教員	伊藤 友美	開講区分	単位数
		後期	2単位

授業のテーマと到達目標

本演習では、現代社会・近現代史研究の基礎概念とインタビュー調査および文献資料解析の手法を再確認し、受講生各自の研究テーマに応用することを目標とする。

授業の概要と計画

近年、ディシプリンを横断して盛んに議論されるようになったグローバリゼーション、ポストコロニアリズム、カルチュラル・スタディーズ、ジェンダーなどに関する研究と、受講生の研究上の関心の接点を探り、各自の研究上の視点・調査手法に役立つ文献を購読する。

成績評価と基準

出席 20%
 授業の際の報告 40%
 学期末レポートないし当該学期に執筆した論文 40%

履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）

正当な理由なく無断で欠席しないよう注意してください。

オフィスアワー・連絡先

Email: itot[at]kobe-u.ac.jp
 ([at]の個所に@を入れる)

学生へのメッセージ

今年度の工夫

教科書

初回の授業で指示する。

参考書・参考資料等

授業における使用言語

日本語

キーワード

開講科目名	日本語文化論特別演習		
担当教員	昆野 伸幸	開講区分	単位数
		後期	2単位
授業のテーマと到達目標			
西村茂樹の著作を読むことで、明治時代の思想の知識を深める。			
授業の概要と計画			
西村茂樹の著作を講読していく。			
成績評価と基準			
平常点10割（出席、討論への参加、報告内容など）で評価する。			
履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）			
報告者以外も事前にテキストを読んだうえで出席し、授業中の討論に積極的に参加すること。討論にあらわれた重要な論点について各自で調べること。			
オフィスアワー・連絡先			
随時。事前に連絡すること（nobuyuki@port.kobe-u.ac.jp）。			
学生へのメッセージ			
受講生の問題関心にしたがって、テキストを変更する可能性がある。			
今年度の工夫			
教科書			
西村茂樹『日本道徳論』岩波文庫			
参考書・参考資料等			
参考文献は、適宜授業中に紹介する。			
授業における使用言語			
日本語			
キーワード			
西村茂樹 啓蒙思想 道徳			

開講科目名	言語教育環境論特別演習		
担当教員	加藤 雅之	開講区分	単位数
		後期	2単位

授業のテーマと到達目標

テクノロジーを利用した外国語教育の方法について実践的アプローチを行う。

授業の概要と計画

現在、多くの外国語の授業ではコンピュータ、インターネット環境を利用したEmail、BBSやチャット、教材提出、情報共有など、さまざまな効果的アプローチが取り入れられている。本演習では、BBSやEmail活動による学習者コミュニティの構築およびその理論的背景について議論するとともに、Moodleなどを利用して実際にこうしたテクノロジーを利用したサイトを制作し、CALLおよびe-Learning環境における授業の設計および評価について、受講者が実際に授業を想定したデモおよびプレゼンテーションを行い、その効果について相互レビューを行う。

成績評価と基準

出席、レポート、プレゼンテーションを総合的に判断する。

履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）

基本的なコンピュータリテラシーがあることが望ましい。

オフィスアワー・連絡先

D624, masakato@kobe-u.ac.jp
上記Emailでアポイントをとること。

学生へのメッセージ

授業サポートとして、下記Moodleシステムを用いる
<http://moodle.solac.kobe-u.ac.jp/>

今年度の工夫

教科書

なし

参考書・参考資料等

授業における使用言語

日本語

キーワード

開講科目名	表象文化相関論特別演習		
担当教員	吉田 典子	開講区分	単位数
		後期	2単位
授業のテーマと到達目標 19世紀から20世紀はじめにかけてのフランス美術と批評を主たる素材として、絵画と文学、絵画とジェンダー、日仏文化交流などの問題を考察する。			
授業の概要と計画 画家エドゥアール・マネに関する研究文献（日本語、英語、フランス語）を読む予定。			
成績評価と基準 平常点（出席および授業での発表や議論への参加）50% 学期末レポート50%			
履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む） 授業で取り上げる文献や作品について十分な予習をしてくること。			
オフィスアワー・連絡先 随時（事前にメールで連絡のこと）ynoriko@kobe-u.ac.jp			
学生へのメッセージ 			
今年度の工夫 			
教科書 プリントを配布する。			
参考書・参考資料等 			
授業における使用言語 日本語			
キーワード フランス美術、マネ			

開講科目名	現代芸術社会論特別演習		
担当教員	朝倉 三枝	開講区分	単位数
		後期	2単位

授業のテーマと到達目標

文献講読を通して、ファッションとモダンデザインの関係性について考察をする。

授業の概要と計画

詳細は受講生と相談のうえ決める。

成績評価と基準

平常点（授業への参加度と貢献度）と学期末レポートの総合評価

履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）

オフィスアワー・連絡先

E棟313
メール(asakura@port.kobe-u.ac.jp)で事前に連絡を取るようになしてください。

学生へのメッセージ

今年度の工夫

教科書

特になし。プリントを配布。

参考書・参考資料等

授業時に適宜、紹介する。

授業における使用言語

日本語。英語やフランス語の文献資料を使うこともあります。

キーワード

モダンデザイン、ファッション

開講科目名	計算科学応用論特別演習		
担当教員	大月 一弘	開講区分	単位数
		後期	2単位

授業のテーマと到達目標

コンピュータを用いたコミュニケーションの最新動向について、情報通信技術・アプリケーション技術・コミュニケーションシステムの利用方法に関する論文や解説書を読み、それらの技術を使って実システムがどのように構築され、どのような効果を期待されるかを議論する。

授業の概要と計画

受講生の興味や基礎知識などに応じて、授業で取り扱う文献を決定する。授業時まで各自が文献を事前に読んでおくことを前提とする。学生の皆さんの疑問・意見などをもとに解説・議論を進める。レポート作成の課題を出すこともある。

成績評価と基準

授業への出席、予習の程度、授業中の議論への参加の程度、知識習得度をもとに評価する。知識習得度を調べるためにレポートを課すこともある。

履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）

授業の前、文献調査を行っておくこと。復習用の課題を授業中に課す。

オフィスアワー・連絡先

学生へのメッセージ

今年度の工夫

教科書

参考書・参考資料等

授業における使用言語

日本語

キーワード

開講科目名	翻訳行為論特別演習		
担当教員	藤涛 文子	開講区分	単位数
		後期	2単位

授業のテーマと到達目標

テーマは翻訳理論です。新しい翻訳研究の動向を文献を通して知り、それについて議論して自分の研究を深めていくことを目指します。

授業の概要と計画

Encyclopedia of Translation Studies.の各項目を精読し、内容を議論しながら日本語に翻訳していきます。担当者を決め、1ヶ月に一項目というペースで進めていく予定です。

成績評価と基準

平常点（課題提出と議論への積極的参加）

履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）

テキストが手に入らない場合はコピーを用意します。毎回の課題を事前準備して議論に積極的に参加してください。

オフィスアワー・連絡先

随時
研究室：B411
fumiko@kobe-u.ac.jp

学生へのメッセージ

相談があればいつでもご連絡ください。

今年度の工夫

翻訳研究の専門用語の日英対照表を作成する。

教科書

M. Baker(ed.) Routledge Encyclopedia of Translation Studies. second edition. 2009.

参考書・参考資料等

必要に応じて指示します。

授業における使用言語

日本語

キーワード

翻訳理論

開講科目名	言語行動科学論特別演習		
担当教員	林 良子	開講区分	単位数
		後期	2単位

授業のテーマと到達目標

音声と言語行動に関する基本的な論文を精読し、最近の動向についても調査する。

授業の概要と計画

受講者の研究テーマに関し、参加者全員が分かるように関連論文を講読し、それぞれが学位論文の一部となるような課題を授業期間中に提案する。

成績評価と基準

授業中の発表内容と課題の提案、計画、実施の内容で総合的に評価する。

履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）

十分な予習をして臨むことが望ましい。

オフィスアワー・連絡先

火・木昼休み（事前メール連絡要）

学生へのメッセージ

論文講読は発表ノルマが2週間に1本程度ですが、本来は週1本がノルマと考え、自分で文献リストを作成してください。

今年度の工夫

教科書

初回の講義で指示する。

参考書・参考資料等

特になし。

授業における使用言語

日本語、文献は英語または日本語

キーワード

開講科目名	コンピューター・シミュレーション論特別演習		
担当教員	康 敏	開講区分	単位数
		後期	2単位

授業のテーマと到達目標

高度情報化、グローバル化した現代社会において、コミュニケーション形態も多様化している。インターネットを通じたグローバルコミュニケーションの実態調査などで得られたデータの統計的処理とその結果の解析方法、また、調査データに基づいた現象の数理モデル化とそのモデルに対するシミュレーション手法およびシミュレーションによる現象の機構解明と将来の推測方法など、コミュニケーションの諸問題に関して、受講者の発表と討論を通じてデータを定量的に扱う手法を身につけるための実践的教育を行う。

授業の概要と計画

本や論文を読み、ディスカッションを行う。

成績評価と基準

課題の提出などによって評価を行う。

履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）

オフィスアワー・連絡先

昼休み 事前連絡必要・
kang@people.kobe-u.ac.jp

学生へのメッセージ

今年度の工夫

教科書

授業の最初に紹介する。

参考書・参考資料等

授業の最初に紹介する。

授業における使用言語

キーワード

開講科目名	近代政治思想系譜論特別演習		
担当教員	上野 成利	開講区分	単位数
		後期	2単位

授業のテーマと到達目標

モダニティ論分野のように抽象度の高い思想文献をテーマとする博士論文を執筆するには、哲学・思想系の術語を十分に咀嚼しながらテキストを精密に読み解いてゆく作業は欠かせない。この演習では、フランクフルト学派をはじめとする現代思想系のテキストを取り上げながら、哲学・思想系テキストを精密に読むトレーニングを行ない、博士論文執筆に必要なレベルの読解力を養成することをめざす。

授業の概要と計画

一言一句をおろそかにせず丁寧にテキストを精読するという、ごくオーソドックスな講読形式で進めてゆく。具体的な素材としてはM・ホルクハイマーやTh・W・アドルノら「フランクフルト学派」、あるいはH・アーレント等の20世紀を代表する思想家のテキストを取り上げる予定である。具体的にどのテキストを取り上げるかについては初回の授業で指示する。

成績評価と基準

担当箇所の報告の水準、毎回の議論への参加、レポートの内容等々をもとに、総合的に評価する。なお演習形式である以上、毎回出席することが前提となるのはいうまでもない。

履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）

「近代社会思想系譜論」等のモダニティ論分野の科目を、同時にできるだけ履修することが望ましい。

オフィスアワー・連絡先

木曜日 17:00 - 17:30
ueno@people.kobe-u.ac.jp

学生へのメッセージ

今年度の工夫

教科書

演習で取り上げるテキストについては、初回の授業で指示します。

参考書・参考資料等

上野成利『思考のフロンティア 暴力』（岩波書店、2006年）で、フランクフルト学派やH・アーレントの思想について簡単に解説しているので、参考文献として活用してもらえたらと思います。
暴力 / 上野成利 : 岩波書店, 2006, ISBN:4000270095

授業における使用言語

日本語

キーワード

開講科目名	ジェンダー社会文化論特別演習		
担当教員	青山 薫	開講区分	単位数
		後期	2単位

授業のテーマと到達目標

「ジェンダー」概念の形成は男女差だけでなく複合差別を問題化する、という観点から、人種、民族、階級、年齢、職業、障害、性指向、出身地などと複雑に絡み合うジェンダーを、社会システムとして理解。それぞれの格差がせめぎ合う具体的なイシューを題材にして、多様性と平等の両立を模索する思考を培います。

授業の概要と計画

受講生の希望も入れてテキストを選び、発表者を中心とした議論によってこれを解読します。「テキスト」は、文字だけでなく映像や現在進行形の運動 / 出来事などをふくめる場合もあります。

成績評価と基準

発表・討論参加：50% 期末レポート：50%

履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）

発表やレポートは、テーマと全体の構成に関係する限り、学会や学会誌など他での発表の練習台にしてもらってかまいません。

オフィスアワー・連絡先

オフィスアワー：月曜昼休み、4限、水曜昼休み。事前にEmailで、差出人を明記して、連絡してください。kaoru@jca.apc.org

学生へのメッセージ

沈黙と参加は両立しませんのでご注意を。第1回目は、全体の構想とテキスト選定のすり合わせをします。テーマの範囲内で、ある程度具体的な「考えたいこと」をもって来てください。

今年度の工夫

先行研究の多い英語の読解は必須です。

教科書

特定の一冊はありませんが、少なくとも下記参考書には目を通すことが前提です。

参考書・参考資料等

下記のほか、岩崎稔、中野敏男、大川正彦、李孝徳編2005『継続する植民地主義、ジェンダー、民族、人種、階級』青弓社 など
「セックスワーカー」とは誰か：移住・性労働・人身取引の構造と経験 / 青山薫：大月書店,2007 ,ISBN:9784272350261
The Force of Domesticity: Filipina Migrants and Globalization (Nation of Newcomers) / Parrenas, Rhacel S. : NYU Press ,2008 ,ISBN:9780814767351
(http://www.nodo50.org/Laura_Agustin/) / Agustin, Laura M. : , ISBN:

授業における使用言語

日本語 必要に応じて英語

キーワード

開講科目名	言語インターフェース論特別演習		
担当教員	水口 志乃扶	開講区分	単位数
		後期	2単位

授業のテーマと到達目標

意味論と語用論を正しく理解し、両領域についての最新の知見を得ることを目的とする

授業の概要と計画

今井邦彦・西山祐司著『ことばの意味とはなんだろう』を精読する。まず意味について、これまでの理論的変遷を考察する。次にそれを踏まえて語用論の主な先行研究と対象について深く考察し、意味の研究とは何か、語用の研究とは何か、について自分の意見をもてるようにし、レポートを書く。

成績評価と基準

レポート 100%

履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）

意味と語用について基礎知識があることが望ましい

オフィスアワー・連絡先

金曜日 13.30 - 15.00
及び事前調整

学生へのメッセージ

何となく分かっていても、分かっている事にはなりません。自分のことばで語れるようになって下さい

今年度の工夫

教科書

『ことばの意味とは何だろう』 / 今井邦彦・西山祐司 . : 岩波書店 ,2012 ,ISBN:

参考書・参考資料等

授業における使用言語

日本語、英語

キーワード

意味論
語用論

開講科目名	文化規範形成論特別演習		
担当教員	宗像 恵	開講区分	単位数
		後期	2単位

授業のテーマと到達目標

歴史的に形成される文化規範のうちでも、ジェンダーに関わる規範を取り上げます。ジェンダーに関わる重要文献を取り上げ、輪読しながら解説を加え、討議することによって、現在のジェンダー規範をめぐる問題状況を理解することを目標にします。取り上げる文献は、受講者の関心に応じて、最初の授業のときに決めたいと思います。最近、Judith ButlerやDrucilla Cornellの著作を多く取り上げてきました。

授業の概要と計画

最初に授業の目標を説明し、取り上げる文献を決定した後、受講者全員で輪読します。毎時間の報告者を決め、報告者には担当箇所のレジュメを作成し、内容報告をしてもらいます。ついで、教員が解説を加え、問題点について全員で討議します。この繰り返しで、読み進めることにします。

成績評価と基準

原則として、担当の報告が50%、報告外の授業への参加状況50%の割合で評価しますが、必要に応じて期末レポートを課します。

履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）

演習形式の授業ですので、担当箇所のレジュメと報告の準備はしっかりしてきてください。担当がない時でも、毎回出席して討議に参加してください。

オフィスアワー・連絡先

オフィスアワー：随時受けつけますが、Eメールで事前に約束をとって下さい。munakatsアットマークperson.kobe-u.ac.jp

研究室：国際文化学部E棟3階のE306研究室

学生へのメッセージ

ジェンダーに関わる規範問題に関心のある人の受講を歓迎します。

今年度の工夫

教科書

最初の授業で決定します。

参考書・参考資料等

適宜、紹介します。

授業における使用言語

日本語

キーワード

ジェンダー

開講科目名	外国語教育内容論特別演習II		
担当教員	石川 慎一郎	開講区分	単位数
		後期	2単位

授業のテーマと到達目標

テーマ： コーパス言語学関連分野の論文購読（ゼミ）

到達目標： 関連分野の先行研究の内容を知り，研究デザインについての理解を深めること。

授業の概要と計画

授業概要： 指定論文を学生が報告し，その内容についてディスカッションを行う。

授業計画： 毎回，受講生の全員が，内外の関連分野のジャーナルに掲載された論文についてレビューを行う。

成績評価と基準

下記を総合的に評価する。

- ・毎回の論文レビュー
- ・ディスカッション
- ・クリティカルコメント

履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）

受講希望者は，開講前に教員にメールで連絡を取ること。

オフィスアワー・連絡先

研究室 D612

メール iskwshin@gmail.com
件名（subject）を明記のこと。

学生へのメッセージ

研究とはなにか，どのように研究を進めていけばいいのか，ゼミの先輩や仲間と悩みを語り合う中で自分自身の研究の方向性をつかんでもらえればと思います。

今年度の工夫

昨年度までの実践をふまえ，新たに，レビュー内容を小冊子もしくは電子媒体にまとめる予定です。

教科書

購読論文は授業内で指示します。

参考書・参考資料等

授業における使用言語

日本語または必要に応じて英語

キーワード

言語，コーパス，教育，教授，リサーチデザイン

開講科目名	文化言説系譜論特別演習		
担当教員	石田 圭子	開講区分	単位数
		後期	2単位

授業のテーマと到達目標

政治・宗教といった<非 芸術>の領域への<美>の越境について論じたテキストを読み、この問題について考察する。

授業の概要と計画

芸術と政治・宗教・認識との関係について論じた諸論を収録したテキストを読む予定であるが、テキストの選出については受講者の関心を考慮する。

成績評価と基準

平常の発表等の評価と期末レポートによる。

履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）

発表準備をしっかりとしておくこと。

オフィスアワー・連絡先

講義内で指示します。

学生へのメッセージ

参加者は必ず予習をしておくこと。

今年度の工夫

教科書

Asthetisierung: Der Streit um das Ästhetische in Politik, Religion und Erkenntnis. Ilka Brombach, Dirk Setton und Cornelia Temesvari (Hg.), Zurich: diaphanes, 2010 *読むテキストを決めたうえでコピーを配布する。

参考書・参考資料等

授業時に必要に応じて指示する。

授業における使用言語

日本語

キーワード

美、芸術、政治、宗教

開講科目名	認知情報システム論特別演習		
担当教員	村尾 元	開講区分	単位数
		後期	2単位
授業のテーマと到達目標			
人間や生物のコミュニケーションや認知に関わる情報処理を、どのようにコンピュータ上で実現し、利用するかということについて勉強します。			
授業の概要と計画			
以下のようなテーマに関して書籍や論文を用いたゼミ形式で勉強します。 - 神経回路網と学習 - 遺伝による形質の最適化 - ベイズ推定 など			
成績評価と基準			
以下の基準により評価します。 - 出席および学習態度、発表や議論への参加によるゼミへの貢献(40%) - レポートや課題などの提出物(60%)			
レポートや課題については、100点満点で採点し、指示された内容が満たされている場合を80点、独自の工夫が成されていれば加点し、内容が足りなければ減点します。これを最終的に60点満点に換算して、平常点の40点とあわせて評価します。			
履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）			
オフィスアワー・連絡先			
いつでもどうぞ。ただし、あらかじめ電子メールで連絡をして下さい。 電子メール：hajime.murao@mulabo.org 研究室：B棟4階B409室			
学生へのメッセージ			
今年度の工夫			
教科書			
授業時に指定します。			
参考書・参考資料等			
必要に応じて随時指定します。			
授業における使用言語			
日本語，英語			

キーワード

開講科目名	言語対照応用論特別演習II		
担当教員	朱 春躍	開講区分	単位数
		後期	2単位

授業のテーマと到達目標

英語や中国語等他言語と日本語の音声や音韻の比較・対照を通して、音声学研究の知見をいかにして教育へ応用するのか検討する。実験機器を利用した研究手法を習得し、実験音声学的研究能力や、教育上の問題を解決する実践能力の向上を目指す。

授業の概要と計画

1. MRI動画画像等を利用した調音過程の観測
2. 音響分析機器を利用した言語音声の物理的特徴の分析
3. 感情の表出と韻律的・声質的特徴の関連の解明
4. 単音・プロソディーに対する母語話者・非母語話者の知覚についての検討
5. 日本語非母語話者の日本語発話の特徴分析や評価

成績評価と基準

授業中での発言や課題の完成度により評価する。

履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）

理論的素養と実践的問題解決能力の両方を高める心構えが必要。

オフィスアワー・連絡先

研究室：D-608（要予約）
E-mail:chunyuez(at)lion.kobe-u.ac.jp

学生へのメッセージ

実験音声学だけでなく、音韻論や一般言語学にも強い関心を持ちましょう。

今年度の工夫

教科書

授業中に指示

参考書・参考資料等

授業中に指示

授業における使用言語

日本語

キーワード

音声実験，実験のデザイン，第2言語の音声習得

開講科目名	表象文化系 譜論特別演習		
担当教員	松家 理恵	開講区分	単位数
		後期	2単位
授業のテーマと到達目標			
20世紀後半から21世紀にかけてのイギリス・ロマン主義についてのエコロジー的批評の再検討を行います。			
授業の概要と計画			
基本的なテキストを読みながら検討を進めていく。			
成績評価と基準			
平常点（授業中の発表）50%、期末レポート50%			
履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）			
参加者は毎回最低限テキストについての予習が求められます。			
オフィスアワー・連絡先			
連絡の上随時。 janjur@kobe-u.ac.jp			
学生へのメッセージ			
初回に参加者の関心、希望を聞いて具体的な授業内容を調整しますので、必ず初回から出席してください。			
今年度の工夫			
教科書			
授業中に指示する。			
参考書・参考資料等			
授業における使用言語			
日本語と英語			
キーワード			
イギリス・ロマン主義 エコクリティシズム			

開講科目名	現代芸術動態論特別演習		
担当教員	池上 裕子	開講区分	単位数
		後期	2単位
授業のテーマと到達目標			
現代美術の諸問題について考察し、博士論文執筆に向けた指導を行う。			
授業の概要と計画			
各学生の執筆テーマに合わせて発表・討議を行う。			
成績評価と基準			
履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）			
オフィスアワー・連絡先			
ikegami@port.kobe-u.ac.jp			
学生へのメッセージ			
今年度の工夫			
教科書			
参考書・参考資料等			

授業における使用言語

キーワード

開講科目名	レトリカル・コミュニケーション論特別演習		
担当教員	米本 弘一	開講区分	単位数
		後期	2単位

授業のテーマと到達目標

小説などの文学作品で使われる表現技法の理論についての基本的知識を習得し、その問題点について考察する。

授業の概要と計画

主として英語圏の小説や詩などの文学作品を分析の対象とし、作品中で使われている修辭的表現技法（レトリック）の特徴や用法、表現効果などについて検討する。また、英語と日本語の表現技法を比較することによって、両者の類似点や相違点についても考察する。

授業では、以下のような項目を取り上げる。

- 1 作品についての解説と講読
- 2 修辭的表現技法の分析
- 3 各表現技法の特徴と用法の検討
- 4 表現効果についての考察
- 5 英語と日本語の表現の比較検討

成績評価と基準

平常点（授業での発表や議論への参加度など）と期末レポートによる。

履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）

英語で書かれた多くの文学作品を読み、作品中で使われている表現技法について考察しておく必要がある。

オフィスアワー・連絡先

火曜 3 限
B 4 1 3 研究室

学生へのメッセージ

今年度の工夫

教科書

使用しない / : , ISBN:

参考書・参考資料等

授業における使用言語

日本語

キーワード

開講科目名	言語慣用類型論特別演習		
担当教員	湯浅 英男	開講区分	単位数
		後期	2単位

授業のテーマと到達目標

日本語や英語等を対象に、言語研究の可能性を探ります。受講者と話し合っ、受講者の関心のある文法カテゴリー、あるいは構文・語法に関する問題を取り上げる予定にしています。

授業の概要と計画

受講者が関心をもつ文法カテゴリー、あるいは構文・語法を扱った論文を読むことを考えています。講読しながら言語の分析方法の可能性を探ります。適宜、受講者に研究の進捗状況を発表してもら場合もあります。

成績評価と基準

授業での発言内容・質問内容等、主に授業中の活動で評価します。

履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）

言語やコミュニケーションについて、幅広く授業を履修することを勧めます。事前に授業で行うテキストの箇所をよく読んで問題点を明らかにしておいてください。また授業の後では関連文献で関係事象についての理解を深めてください。

オフィスアワー・連絡先

木曜日の12時20分から13時10分まで。事前に連絡してくれることを望みます。研究室はB410。

学生へのメッセージ

基本的な知識の上に、オリジナルな発想に基づいた言語分析の方法をはぐくんで下さい。授業では、積極的に自分の考えを述べてください。

今年度の工夫

参加者の積極的な発言を引き出すような質問を工夫したいと思います。

教科書

最終的には受講者と話し合って決めます。言語研究に関する研究書の中から何かトピックを取り上げることを考えています。

参考書・参考資料等

授業中、適宜紹介する。

授業における使用言語

日本語

キーワード

言語 コミュニケーション 文法カテゴリー 構文 語法 統語論 意味論 語用論

開講科目名	第二言語習得論特別演習		
担当教員	田中 順子	開講区分	単位数
		後期	2単位

授業のテーマと到達目標

1. 第二言語のfeatureの習得に関する文献を読み、この分野の現状についての知見を得る。
2. 実証的な研究の立案、実践、結果解釈までの流れを知る。

授業の概要と計画

第二言語のfeatureの習得研究で代表的な論文を4週間に1本ずつ精読し、この分野の現状についての知識を得る。
 課題論文の研究目的や研究の枠組み、研究方法の長所・短所、結果解釈の妥当性などについて検討する。
 実証的研究のプロポーザルを作成する。

成績評価と基準

以下の観点から総合的に判断します。

授業参加と貢献
 課題
 期末レポート

履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）

専門分野の英語文献を読む能力が必要です。

オフィスアワー・連絡先

火曜昼休み。
 あらかじめメールで予約してください。

学生へのメッセージ

第二言語習得論に興味がある人、実証的研究に興味がある人を歓迎します。

今年度の工夫

受講者がエビデンスに基づく考察ができるように留意して指導します。

教科書

授業中に適宜指示します。

参考書・参考資料等

授業における使用言語

主として日本語。英語話者には英語を使用。

キーワード

第二言語習得論, feature acquisition

開講科目名	第二言語運用論特別演習		
担当教員	グリア ティモシー	開講区分	単位数
		後期	2単位

授業のテーマと到達目標

In this class students will conduct a more in-depth investigation of a corpus of naturally occurring talk.

授業の概要と計画

Students will read a variety of English papers on Conversation Analysis and Pragmatics, especially with regard to second language learning. They will also engage regularly with recordings on naturally occurring interaction to develop detailed observations about the talk that goes on there. Together they will put together a collection of cases on a given phenomenon and work up an empirical analysis of that interactional practice.

成績評価と基準

Students will be graded holistically based on their active participation in class. They will also build a collection of cases and write a paper in English based on that analysis.

履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）

This class will build on the topics introduced in the semester 1 Contents seminar, so students are highly advised to take that class first.

オフィスアワー・連絡先

Monday 12:10- 13:00

学生へのメッセージ

This class will primarily be conducted in English. Students are expected to contribute actively to the discussion and to read extensively in English.

今年度の工夫

教科書

Teacher prepared materials, to be handed out in the initial class

参考書・参考資料等

Conversation Analysis and Second Language Pedagogy / Jean Wong and Hansun Zhang Waring : Routledge ,2010 ,ISBN:
 Observing Talk: Conversation Analytic Studies of Second Language Interaction / Greer, T. : JALT Pragmatics SIG ,2010 ,ISBN:

授業における使用言語

English

キーワード

Pragmatics, Second Language Learning, Conversation Analysis, Discourse

開講科目名	先端コミュニケーション論特別演習		
担当教員	山田 玲子	開講区分	単位数
		後期	2単位

授業のテーマと到達目標

外国語学習における音声の役割について、音声分析、文脈効果、語彙習得に焦点をあてた講義と体験を通して知識と技術を得る。また、外国語学習実験を通して応用に関して考察する。

授業の概要と計画

概要

音声言語情報処理に関する関連諸分野の基本的な知識を得、英語学習・教育への応用について考察する。具体例としてTOEIC®テストをとりあげて様々な学習方法を体験し、自らも外国語語彙学習のための教材を作成することにより外国語の育成方法について理解を深める。さらに、発音を客観的に評価するために不可欠な音響分析を体験し、特にスペクトログラム（声紋）から何という英語発話かを読み取るスペクトログラムリーディングを学び、英語音声の特徴とその習得方法について考察する。

計画

1. 外国語学習における文脈効果
2. 外国語学習と語彙知識
3. TOEIC(r)テスト語彙学習の体験
4. 外国語の語彙学習教材の作成
5. 英語音声の分析
6. 英語音声のスペクトログラムリーディング

成績評価と基準

平常点50%、期末のレポート50%

履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）

演習（教材作成、実習、データ処理）は授業内と授業時間外の双方で進めます。授業時間外での作成に使用するパソコン、ソフト（PowerPoint、Excel等）は受講者が準備してください。

復習として毎回講義のまとめや課題に関する小レポートを作成し、次回講義までにメールで送付していただきます。課題については講義時に指示します。

受講者の人数によって内容を調整しながらすすめます。

オフィスアワー・連絡先

yamada@atr-It.jp

学生へのメッセージ

今年度の工夫

教科書

参考書・参考資料等

授業における使用言語

日本語

キーワード

音声、外国語、L2、第2言語、英語、スペクトログラム、音声分析、TOEIC、eラーニング

開講科目名	美的言説系譜論特別演習		
担当教員	石田 圭子	開講区分	単位数
		後期	2単位

授業のテーマと到達目標

政治・宗教といった<非 芸術>の領域への<美>の越境について論じたテキストを読み、この問題について考察する。

授業の概要と計画

芸術と政治・宗教・認識との関係について論じた諸論を収録したテキストを読む予定であるが、テキストの選出については受講者の関心を考慮する。

成績評価と基準

平常の発表等の評価と期末レポートによる。

履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）

発表準備をしっかりとしておくこと。

オフィスアワー・連絡先

講義内で指示します。

学生へのメッセージ

参加者は必ず予習をしておくこと。

今年度の工夫

教科書

Asthetisierung: Der Streit um das Ästhetische in Politik, Religion und Erkenntnis. Ilka Brombach, Dirk Setton und Cornelia Temesvari (Hg.), Zurich: diaphanes, 2010 *読むテキストを決めたうえでコピーを配布する。

参考書・参考資料等

授業時に必要に応じて指示する。

授業における使用言語

日本語

キーワード

美、芸術、政治、宗教

開講科目名	市民文化表象論特別演習		
担当教員	朝倉 三枝	開講区分	単位数
		後期	2単位
授業のテーマと到達目標			
文献講読を通して、ファッションとモダンデザインの関係性について考察をする。			
授業の概要と計画			
詳細は受講生と相談のうえ決める。			
成績評価と基準			
平常点（授業への参加度と貢献度）と学期末レポートの総合評価			
履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）			
オフィスアワー・連絡先			
E棟313 メール(asakura@port.kobe-u.ac.jp)で事前に連絡を取るようになさってください。			
学生へのメッセージ			
今年度の工夫			
教科書			
特になし。プリントを配布。			
参考書・参考資料等			
授業時に適宜、紹介する。			
授業における使用言語			
日本語。英語やフランス語の文献資料を使うこともあります。			
キーワード			
モダンデザイン、ファッション			

開講科目名	音声コミュニケーション学習論特別演習		
担当教員	山田 玲子	開講区分	単位数
		後期	2単位

授業のテーマと到達目標

外国語学習における音声の役割について、音声分析、文脈効果、語彙習得に焦点をあてた講義と体験を通して知識と技術を得る。また、外国語学習実験を通して応用に関して考察する。

授業の概要と計画

概要

音声言語情報処理に関する関連諸分野の基本的な知識を得、英語学習・教育への応用について考察する。具体例としてTOEIC®テストをとりあげて様々な学習方法を体験し、自らも外国語語彙学習のための教材を作成することにより外国語の育成方法について理解を深める。さらに、発音を客観的に評価するために不可欠な音響分析を体験し、特にスペクトログラム（声紋）から何という英語発話かを読み取るスペクトログラムリーディングを学び、英語音声の特徴とその習得方法について考察する。

計画

1. 外国語学習における文脈効果
2. 外国語学習と語彙知識
3. TOEIC(r)テスト語彙学習の体験
4. 外国語の語彙学習教材の作成
5. 英語音声の分析
6. 英語音声のスペクトログラムリーディング

成績評価と基準

平常点50%、期末のレポート50%

履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）

演習（教材作成、実習、データ処理）は授業内と授業時間外の双方で進めます。授業時間外での作成に使用するパソコン、ソフト（PowerPoint、Excel等）は受講者が準備してください。

復習として毎回講義のまとめや課題に関する小レポートを作成し、次回講義までにメールで送付していただきます。課題については講義時に指示します。

受講者の人数によって内容を調整しながらすすめます。

オフィスアワー・連絡先

yamada@atr-lt.jp

学生へのメッセージ

今年度の工夫

教科書

参考書・参考資料等

授業における使用言語

日本語

キーワード

音声、外国語、L2、第2言語、英語、スペクトログラム、音声分析、TOEIC、eラーニング

開講科目名	中国社会経済論特別演習		
担当教員	谷川 真一	開講区分	単位数
		後期	2単位
授業のテーマと到達目標			
現代中国のさまざまな課題と問題を社会科学的アプローチを用いて解明することを目的とし、そのための理論、方法論の指導を行います。			
授業の概要と計画			
はじめは、博士課程院生の研究テーマに関連する先行研究（理論、方法論、実施的問題を含む）の批判的検討を中心に行います。その後は、院生の博士論文作成に関するアドバイスを適宜行っていきます。			
成績評価と基準			
研究報告、論文のクオリティを評価基準とします。			
履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）			
日本語に加え、英語、中国語の文献を読むことが必要条件です。			
オフィスアワー・連絡先			
水曜日3時間目			
学生へのメッセージ			
大学院では理論と方法論の基礎をしっかりと身に付けましょう。			
今年度の工夫			
教科書			
特になし。			
参考書・参考資料等			
適宜提示します。			
授業における使用言語			
日本語			
キーワード			
現代中国、社会科学、理論、方法論			

開講科目名	メディア社会文化論特別演習		
担当教員	小笠原 博毅	開講区分	単位数
		後期	2単位

授業のテーマと到達目標

「都市における身体」をテーマに、様々な角度からの文献を読み、参加者各自の問題設定に寄り添って議論し、自分の論文を少し客観的に眺めてみるきっかけを作ることが目標。

授業の概要と計画

毎回参加者によるテーマの提供を前提とします。
トピックとして次のようなテーマ群を想定しています。

1. メディアと身体
2. ジェンダーの身体論
3. セクシュアリティと身体
4. 人種化される身体
5. 身体表象の歴史
6. 公共性と身体
7. 若者と身体
8. ジェントリフィケーションと身体
9. 身体文化論

成績評価と基準

参加と理解および学期末課題

履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）

各自の博士論文研究のテーマを少し違った角度から見直して、より良いものにするための一助にしてください。

オフィスアワー・連絡先

木曜 昼休
hiroki@kobe-u.ac.jp
内線7464

学生へのメッセージ

チャレンジしないとわざわざ大学院まで来た意味ないよ

今年度の工夫

毎回、自分の博士論文研究の進捗状況を報告してもらい、それに合わせてディスカッションのテーマを決めていきます。

教科書

初回講義時に指定

参考書・参考資料等

随時紹介

授業における使用言語

日本語もしくは英語

キーワード

身体、カルチュラル・スタディーズ

開講科目名	学位論文コロキウム（博士基礎論文）		
担当教員	教授会	開講区分	単位数
		後期	1単位
授業のテーマと到達目標			
<input type="text" value="<作成中>"/>			
授業の概要と計画			
<input type="text" value="<作成中>"/>			
成績評価と基準			
<input type="text" value="<作成中>"/>			
履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）			
<input type="text" value="<作成中>"/>			
オフィスアワー・連絡先			
<input type="text" value="<作成中>"/>			
学生へのメッセージ			
<input type="text" value="<作成中>"/>			
今年度の工夫			
<input type="text" value="<作成中>"/>			
教科書			
<input type="text" value="<作成中>"/>			
参考書・参考資料等			
<input type="text" value="<作成中>"/>			
授業における使用言語			
<input type="text" value="<作成中>"/>			
キーワード			
<input type="text" value="<作成中>"/>			

開講科目名	学位論文コロキウム（博士予備論文）		
担当教員	教授会	開講区分	単位数
		後期	1単位

授業のテーマと到達目標

<作成中>

授業の概要と計画

<作成中>

成績評価と基準

<作成中>

履修上の注意（準備学習・復習、関連科目情報等を含む）

<作成中>

オフィスアワー・連絡先

<作成中>

学生へのメッセージ

<作成中>

今年度の工夫

<作成中>

教科書

<作成中>

参考書・参考資料等

<作成中>

授業における使用言語

<作成中>

キーワード

<作成中>

開講科目名	学位論文コロキウム(プロジェクトプロポーザル)		
担当教員	教授会	開講区分	単位数
		後期	1単位
授業のテーマと到達目標			
<input type="text" value="<作成中>"/>			
授業の概要と計画			
<input type="text" value="<作成中>"/>			
成績評価と基準			
<input type="text" value="<作成中>"/>			
履修上の注意(準備学習・復習、関連科目情報等を含む)			
<input type="text" value="<作成中>"/>			
オフィスアワー・連絡先			
<input type="text" value="<作成中>"/>			
学生へのメッセージ			
<input type="text" value="<作成中>"/>			
今年度の工夫			
<input type="text" value="<作成中>"/>			
教科書			
<input type="text" value="<作成中>"/>			
参考書・参考資料等			
<input type="text" value="<作成中>"/>			
授業における使用言語			
<input type="text" value="<作成中>"/>			
キーワード			
<input type="text" value="<作成中>"/>			

開講科目名	学位論文コロキウム(プロジェクト報告書)		
担当教員	教授会	開講区分	単位数
		後期	1単位
授業のテーマと到達目標			
<input type="text" value="<作成中>"/>			
授業の概要と計画			
<input type="text" value="<作成中>"/>			
成績評価と基準			
<input type="text" value="<作成中>"/>			
履修上の注意(準備学習・復習、関連科目情報等を含む)			
<input type="text" value="<作成中>"/>			
オフィスアワー・連絡先			
<input type="text" value="<作成中>"/>			
学生へのメッセージ			
<input type="text" value="<作成中>"/>			
今年度の工夫			
<input type="text" value="<作成中>"/>			
教科書			
<input type="text" value="<作成中>"/>			
参考書・参考資料等			
<input type="text" value="<作成中>"/>			
授業における使用言語			
<input type="text" value="<作成中>"/>			
キーワード			
<input type="text" value="<作成中>"/>			

Course title	Advanced Seminar in National Integration in Southeast Asia		
Instructor	SADAYOSHI Yasushi	Lecture category	Credit(s)
		1st semester	2

Theme and Objectives

to understand the dilemmatic structure of Chinese problems in national integration of Indonesia.

Classroom Language

Indonesian, Japanese, English

Course title	Advanced Seminar in Regional Politics		
Instructor	NAKAMURA Satoru	Lecture category	Credit(s)
		1st semester	2

Theme and Objectives

Description and Schedule

Evaluation

Information Regarding Preparation, Review and Related Subjects

Office Hour and Contact Information

Message

Improvements in Teaching

Textbook

Reference Materials

Classroom Language

Keywords

Course title	Advanced Seminar in Japanese Visual Arts		
Instructor	ITAKURA Fumiaki	Lecture category	Credit(s)
		1st semester	2

Theme and Objectives

We will read books and essays of film studies (which languages are both in English and Japanese) and discuss on each topics. Each student will be required to give presentation in the class.

Classroom Language

Japanese

Course title	Advanced Seminar in Cultural Expression in Germany and Austria		
Instructor	TANIMOTO Shinsuke	Lecture category	Credit(s)
		1st semester	2

Theme and Objectives

Thema: Expressive culture in the early modern time of Germany and Austria

Classroom Language

Japanese

Course title	Advanced Seminar in International Relations		
Instructor	SAKAI Kazunari	Lecture category	Credit(s)
		1st semester	2

Theme and Objectives

Following recent research trends of International Relations, students acquire fundamental and indispensable perspectives for IR or comparative politics.

Classroom Language

Japanese

Course title	Advanced Seminar in Culture and Society in China		
Instructor	WANG Ke	Lecture category	Credit(s)
		1st semester	2

Theme and Objectives

Classroom Language

Course title	Advanced Seminar in Religion and Culture in Britain		
Instructor	NOTANI Keiji	Lecture category	Credit(s)
		1st semester	2

Theme and Objectives

Advanced Seminar in Religion and Culture in Britain. One main purpose of this course will be to acquire essential knowledge of the Established Church.

Description and Schedule

We are going to read the second chapter of Aidan Nichols's From Newman to Congar.

Evaluation

Preparation for and review of each class, and participation in class discussion 50% plus a final term paper 50%

Information Regarding Preparation, Review and Related Subjects

Office Hour and Contact Information

Message

Improvements in Teaching

Textbook

From Newman to Congar / Aidan Nichols : ,1990 ,ISBN:

Reference Materials

Classroom Language

Japanese

Keywords

Course title	” Advanced Seminar in Science, Technology and Society ”		
Instructor	TSUKAHARA Togo	Lecture category	Credit(s)
		1st semester	2

Theme and Objectives

Classroom Language

Course title	Advanced Seminar in Ethnographic Research		
Instructor	OKADA Hiroki	Lecture category	Credit(s)
		1st semester	2

Theme and Objectives

Classroom Language

Japanese

Course title	Advanced Seminar in Culture and Society in Mongolia		
Instructor	HAGIHARA Mamoru	Lecture category	Credit(s)
		1st semester	2

Theme and Objectives

The theme and the purpose is to study the present situation and the method of researches about Mongolian history.

Classroom Language

Japanese

Course title	Advanced Seminar in Culture and Society in Oceania		
Instructor	KUBOTA Sachiko	Lecture category	Credit(s)
		1st semester	2

Theme and Objectives

Understand the current academic trends of Anthropology and learn the way to connect one's own research theme with it.

Classroom Language

Japanese

Course title	Advanced Seminar in Politics in Multicultural Society		
Instructor	近藤 正基	Lecture category	Credit(s)
		1st semester	2

Theme and Objectives

In this course we review welfare state developments in OECD countries, especially Japan and Continental Europe.

Classroom Language

Japanese, German, English

Course title	Advanced Seminar in Victorian Studies		
Instructor	ISHIZUKA Hiroko	Lecture category	Credit(s)
		1st semester	2

Theme and Objectives

We study some aspects of the Victorian cultures, through the new power of the middle class.

Classroom Language

Japanese

Course title	Advanced Seminar in Latin America and Global History		
Instructor	OZAWA Takuya	Lecture category	Credit(s)
		1st semester	2

Theme and Objectives

Theme: Ethnicity and Nationalism in Latin America

Classroom Language

Japanese

Course title	Advanced Seminar in Cultural Anthropology		
Instructor	SAITO Tsuyoshi	Lecture category	Credit(s)
		1st semester	2

Theme and Objectives

This course is designed for the Ph.D. candidates who are preparing for their dissertations. Throughout this course, students are required to submit their research proposals, research projects, and drafts of their articles that should be submitted to academic journals. Advises and information concerning these proposal and drafts will be attributed to each Ph. D. candidate for the revision of their papers.

Classroom Language

Japanese

Course title	Advanced Seminar in Translating Classical Literature		
Instructor	KITAMURA Yuika	Lecture category	Credit(s)
		1st semester	2

Theme and Objectives

Comparative study of the Tale of Genji

Classroom Language

Japanese

Course title	Advanced Seminar in Interpersonal Communication		
Instructor	MAIYA Kiyoshi	Lecture category	Credit(s)
		1st semester	2

Theme and Objectives

This course is for doctoral students who will learn advanced knowledge and research methods in the field of interpersonal behavior. The students are to study current research and to discuss several topics in the field, linking to their research field.

Classroom Language

--

Course title	Advanced Seminar in Neuropsychology and Communication		
Instructor	MATSUMOTO Eriko	Lecture category	Credit(s)
		1st semester	2

Theme and Objectives

The aim of this seminar is to acquire the knowledge necessary for doing research on cognitive psychology/neuroscience through discussions about human cognitive functions, including visual perception, attention, and social cognitive functions.

Classroom Language

Japanese

Course title	Advanced Seminar in Computer Communication Systems		
Instructor	OHTSUKI Kazuhiro	Lecture category	Credit(s)
		1st semester	2

Theme and Objectives

This class discuss about topics on computer communication systems by suveying new technical papers.

Classroom Language

japanese

Course title	Advanced Seminar in Second Language Pedagogy		
Instructor	KASHIWAGI Harumi	Lecture category	Credit(s)
		1st semester	2

Theme and Objectives

This class deals with "teaching and learning methodology in English language education" and aims at broadening knowledge or awareness about the relevant fields.

Description and Schedule

Students are required to read national or international articles on teaching and learning methodology in English language education and to have discussion sessions.

Evaluation

- (1) participation & prentation 40%
- (2) mid-term report & assignment 30%
- (3) final report 30%

Information Regarding Preparation, Review and Related Subjects

Office Hour and Contact Information

Notice: Remember to arrange your appointment in advance by sending me an email.
kasiwagi@kobe-u.ac.jp、 Room: D610

Message

Improvements in Teaching

Textbook

詳細については授業で説明する。 / : , , ISBN:

Reference Materials

Classroom Language

Japanese

Keywords

Course title	Advanced Seminar in Art and Multicultural Society		
Instructor	IWAMOTO Kazuko	Lecture category	Credit(s)
		1st semester	2

Theme and Objectives

We examine and deepen our understanding on the evolution and various aspects of artistic activities with their background of political and social systems.

Classroom Language

Japanese, English, French

Course title	Advanced Seminar in Multimedia Information		
Instructor	MORISHITA Junya	Lecture category	Credit(s)
		1st semester	2

Theme and Objectives

Theme: Introduction to multimedia, the concept of multimedia information and integration of multimedia data on network communication.
Objective: To acquire a technical knowledge for integration of multimedia data on computer network and to lead a better understanding of multimedia information concept.

Description and Schedule

Evaluation

Information Regarding Preparation, Review and Related Subjects

Office Hour and Contact Information

Message

Improvements in Teaching

Textbook

Reference Materials

Classroom Language

Japanese

Keywords

Course title	Advanced Seminar in Second Language Learning and Technology		
Instructor	KASHIWAGI Harumi	Lecture category	Credit(s)
		1st semester	2

Theme and Objectives

This class deals with "educational technology in foreign language education" and aims at broadening knowledge or awareness about the relevant fields.

Description and Schedule

Students are required to read national or international articles on topics of the state-of-the-art technology and to have discussion sessions.

Evaluation

- (1) participation & presentation 40%
- (2) mid-term report & assignment 30%
- (3) final report 30%

Information Regarding Preparation, Review and Related Subjects

Office Hour and Contact Information

Notice: Remember to arrange your appointment in advance by sending me an email.
kasiwagi@kobe-u.ac.jp、Room: D610

Message

Improvements in Teaching

Textbook

詳細については授業で説明する。 / : , ISBN:

Reference Materials

Classroom Language

Japanese

Keywords

Course title	Advanced Seminar in Advanced Communication		
Instructor	NOTA Yukiko	Lecture category	Credit(s)
		1st semester	2

Theme and Objectives

The aim of this seminar is to provide an introduction to brain science in speech communication and language. Reading and discussing recent papers and a practical experiment with an fMRI are included in this seminar.

Classroom Language

Japanese

Course title	Advanced Seminar in Language and Cultural Representation		
Instructor	SHIMAZU Atsuhisa	Lecture category	Credit(s)
		1st semester	

Theme and Objectives

Reading the eaasy on reader by George Steiner

Classroom Language

Japanese and English

Course title	Advanced Seminar in Psycholinguistics and Language Teaching		
Instructor	YOKOKAWA Hirokazu	Lecture category	Credit(s)
		1st semester	2

Theme and Objectives

Classroom Language

Course title	Advanced Seminar in Modern Social Thought		
Instructor	CHO Shigeru	Lecture category	Credit(s)
		1st semester	2
Theme and Objectives			
Work for the dissertation.			
Description and Schedule			
Oral presentation of an outline of the thesis is required.			
Evaluation			
Attendance and participation.			
Information Regarding Preparation, Review and Related Subjects			
Office Hour and Contact Information			
Friday 13:00-13:20			
Message			
Improvements in Teaching			
Textbook			
Reference Materials			
Classroom Language			
Japanese			

Keywords

Course title	Advanced Seminar in Interactional Grammar		
Instructor	SADANOBU Toshiyuki	Lecture category	Credit(s)
		1st semester	2

Theme and Objectives

Through intensive discussion, students will achieve essential understanding of the problems of traditional mutually interconnected views (i.e. view of communication as information transfer, view of speech act as intensional, and view of language as a tool) and their breakthrough.

Classroom Language

Japanese

Course title	Advanced Seminar in Applied Linguistics I		
Instructor	YAMATO Kazuhito	Lecture category	Credit(s)
		1st semester	2

Theme and Objectives

This class deals with "teaching and learning oral skills in English language education" and aims at broadening knowledge or awareness about the relevant fields.

Description and Schedule

Students are required to read national or international articles on teaching and learning oral skills and to have discussion sessions.

Evaluation

Evaluation will be based on attendance, involvement and presentations and reports.

Information Regarding Preparation, Review and Related Subjects

Office Hour and Contact Information

office: D622
contact: yamato@port.kobe-u.ac.jp

Message

Writing up a thesis consists of huge amount of readings, repeated pondering and hours of discussion. This class contributes to this hardest process of writing up a quality paper.

Improvements in Teaching

Textbook

Reference Materials

Classroom Language

Keywords

Course title	Advanced Seminar in Contemporary Jurisprudence		
Instructor	SAKURAI Tetsu	Lecture category	Credit(s)
		1st semester	2

Theme and Objectives

“ Theories of Evolution of the Nineteenth Century ”

The aim of this class is to read the classic work of the theories of evolution and understand the way the concept of evolution was advocated and criticized and a social impact it had on the ideas of the nineteenth-century England.

Classroom Language

Japanese

Course title	Advanced Seminar in Information Systems and Databases		
Instructor	KIYOMITSU Hidenari	Lecture category	Credit(s)
		1st semester	2

Theme and Objectives

Information retrieval systems, Web information systems, Database systems and so, in order to build such a system, it is necessary to accurately understand the connections and knowledge of organically combine the individual schemes.

Description and Schedule

This class consists of three parts.
- Overview of Information Retrieval.
- Trends in Web Information Systems.
- Database and the Web.

Evaluation

Total evaluation is made by challenges and ideas to fix the facing problems.

Information Regarding Preparation, Review and Related Subjects

Attendance is expected, and may be recorded from time to time. Absences for legitimate professional activities and illnesses are acceptable only if prior notice is given to the instructor by e-mail. Scheduling conflicts with your work, extra-curricular activities, or any other such activities is not a valid excuse.

Office Hour and Contact Information

E-MAIL:kiyomitsu@carp.kobe-u.ac.jp

Message

I expect you to observe the highest ethical standards. Simply put, we count on you to do the right thing. You are expected to always do your own work.

Improvements in Teaching

From this year, students must file reports proposed in the lecture.

Textbook

Reference documents will be introduced when it needs.

Reference Materials

Reference documents will be introduced when it needs.

Classroom Language

Japanese

Keywords

Information retrieval systems, Web information systems, Database systems

Course title	Advanced Seminar in Applied Contrastive Linguistics I		
Instructor	MASUDA Yoshikazu	Lecture category	Credit(s)
		1st semester	2

Theme and Objectives

Classroom Language

Course title	Advanced Seminar in Modern Economic Thought		
Instructor	ICHIDA Yoshihiko	Lecture category	Credit(s)
		1st semester	2

Theme and Objectives

Classroom Language

Course title	Advanced Seminar in Bioethics		
Instructor	YAMAZAKI Yasuji	Lecture category	Credit(s)
		1st semester	2

Theme and Objectives

This seminar is aimed to provide a deeper understanding of issues concerning bioethics through intensive and close reading of essential texts and laws on the subject.

Classroom Language

--

Course title	Advanced Seminar in Contemporary Cultural Policy		
Instructor	FUJINO Kazuo	Lecture category	Credit(s)
		1st semester	2

Theme and Objectives

Classroom Language

Course title	Advanced Seminar in Modernism in Art		
Instructor	TATEOKA Kumi	Lecture category	Credit(s)
		1st semester	220

Theme and Objectives

A Role of Theatrical and Performing Arts in Modernization
Traning of academic writing in Japanese for doctoral thesis.

Classroom Language

Jananese

Course title	Advanced Seminar in Teaching Japanese as a Second Language (Method)		
Instructor	SAITO Miho	Lecture category	Credit(s)
		1st semester	2

Theme and Objectives

To obtain the basic knowledge of the various methods of teaching Japanese as a second/foreign language and analyze the features of each method through designing lessons according to it

Classroom Language

Japanese

Course title	Advanced Seminar in Comparative and Contrastive Linguistics		
Instructor	HAYASHI Hiroshi	Lecture category	Credit(s)
		1st semester	2

Theme and Objectives

Dative and Related Phenomena

Classroom Language

Japanese

Course title	Advanced Seminar in Advanced Communication		
Instructor	近藤 公久	Lecture category	Credit(s)
		1st semester	2

Theme and Objectives

This class aims to learn the smooth communication mainly based on the verbal communication with visual and auditory processing. Communication in super-aged society and human-robot/computer interaction are also discussed.

Classroom Language

Japanese

Course title	Advanced Seminar in Multicultural Societies		
Instructor	近藤 正基	Lecture category	Credit(s)
		1st semester	2

Theme and Objectives

In this course we review welfare state developments in OECD countries, especially Japan and Continental Europe.

Classroom Language

Japanese, German, English

Course title	Advanced Seminar in Structure of Phonetics		
Instructor	NOTA Yukiko	Lecture category	Credit(s)
		1st semester	2

Theme and Objectives

The aim of this seminar is to provide an introduction to brain science in speech communication and language. Reading and discussing recent papers and a practical experiment with an fMRI are included in this seminar.

Classroom Language

Japanese

Course title	Advanced Seminar in Telecommunication		
Instructor	近藤 公久	Lecture category	Credit(s)
		1st semester	2

Theme and Objectives

This class aims to learn the smooth communication mainly based on the verbal communication with visual and auditory processing. Communication in super-aged society and human-robot/computer interaction are also discussed.

Classroom Language

Japanese

Course title	Seminar for Dissertation I		
Instructor	Thesis Supervisor	Lecture category	Credit(s)
		full year course	2

Theme and Objectives

Classroom Language

Course title	Seminar for Dissertation II		
Instructor	Thesis Supervisor	Lecture category	Credit(s)
		full year course	2

Theme and Objectives

Classroom Language

Course title	Seminar for Dissertation III		
Instructor	Thesis Supervisor	Lecture category	Credit(s)
		full year course	2

Theme and Objectives

Classroom Language

Course title	Seminar for Dissertation I		
Instructor	Thesis Supervisor	Lecture category	Credit(s)
		full year course	2

Theme and Objectives

Seminar for writing a doctoral dissertation.

Classroom Language

Japanese.

Course title	Seminar for Dissertation II		
Instructor	Thesis Supervisor	Lecture category	Credit(s)
		full year course	2

Theme and Objectives

A chief faculty advisor provides research guidance to complete the thesis to the students in the researcher training program.

Description and Schedule

Evaluation

Information Regarding Preparation, Review and Related Subjects

Office Hour and Contact Information

Message

Improvements in Teaching

Textbook

Reference Materials

Classroom Language

Japanese

Keywords

Course title	Seminar for Dissertation III		
Instructor	Thesis Supervisor	Lecture category	Credit(s)
		full year course	2

Theme and Objectives

Seminar for writing a doctoral dissertation.

Classroom Language

Japanese.

Course title	Seminar for Dissertation I		
Instructor	Thesis Supervisor	Lecture category	Credit(s)
		full year course	2

Theme and Objectives

The 1st step to the dissertation

Classroom Language

Japanese

Course title	Seminar for Dissertation II		
Instructor	Thesis Supervisor	Lecture category	Credit(s)
		full year course	2

Theme and Objectives

The 2nd step to the dissertation

Classroom Language

Japanese

Course title	Seminar for Dissertation III		
Instructor	Thesis Supervisor	Lecture category	Credit(s)
		full year course	2

Theme and Objectives

The 3rd step to the dissertation

Classroom Language

Japanese

Course title	Seminar for Dissertation I		
Instructor	Thesis Supervisor	Lecture category	Credit(s)
		full year course	2

Theme and Objectives

This seminar is designed for Ph.D candidates of Cultural Anthropology course to deepen their studies and assist their accomplishments of Hakase-Kiso-Ronbun.

Classroom Language

Japanese

Course title	Seminar for Dissertation II		
Instructor	Thesis Supervisor	Lecture category	Credit(s)
		full year course	2

Theme and Objectives

This seminar is designed for Ph.D candidates of Cultural Anthropology course to deepen their studies and assist their accomplishment of Hakase-Yobi-Ronbun

Classroom Language

Japanese

Course title	Seminar for Dissertation III		
Instructor	Thesis Supervisor	Lecture category	Credit(s)
		full year course	2

Theme and Objectives

This seminar is designed for Ph.D candidates of Cultural Anthropology course to deepen their studies and assist their accomplishment of Hakase-Yobi-Shinsa-Ronbun.

Classroom Language

Japanese

Course title	Seminar for Dissertation I		
Instructor	Thesis Supervisor	Lecture category	Credit(s)
		full year course	2

Theme and Objectives

Seminar for writing a doctoral dissertation.

Classroom Language

Japanese.

Course title	Seminar for Dissertation II		
Instructor	Thesis Supervisor	Lecture category	Credit(s)
		full year course	2

Theme and Objectives

Seminar for writing a doctoral dissertation.

Classroom Language

Japanese.

Course title	Seminar for Dissertation III		
Instructor	Thesis Supervisor	Lecture category	Credit(s)
		full year course	2

Theme and Objectives

Seminar for writing a doctoral dissertation.

Classroom Language

Japanese.

Course title	Seminar for Dissertation I		
Instructor	Thesis Supervisor	Lecture category	Credit(s)
		full year course	2

Theme and Objectives

Advisors in the course provide research guidance for the basic draft of the doctoral dissertation to doctoral students in the coursework program.

Classroom Language

Japanese or English

Course title	Seminar for Dissertation II		
Instructor	Thesis Supervisor	Lecture category	Credit(s)
		full year course	2

Theme and Objectives

Advisors in the course provide research guidance for the basic draft of the doctoral dissertation to doctoral students in the coursework program.

Classroom Language

Japanese or English

Course title	Seminar for Dissertation III		
Instructor	Thesis Supervisor	Lecture category	Credit(s)
		full year course	2

Theme and Objectives

Advisors in the course provide research guidance for the basic draft of the doctoral dissertation to doctoral students in the coursework program.

Classroom Language

Japanese or English

Course title	Seminar for Dissertation I		
Instructor	Thesis Supervisor	Lecture category	Credit(s)
		full year course	2

Theme and Objectives

Classroom Language

Course title	Seminar for Dissertation II		
Instructor	Thesis Supervisor	Lecture category	Credit(s)
		full year course	2

Theme and Objectives

Classroom Language

Course title	Seminar for Dissertation III		
Instructor	Thesis Supervisor	Lecture category	Credit(s)
		full year course	2

Theme and Objectives

Classroom Language

Course title	Seminar for Dissertation I		
Instructor	Thesis Supervisor	Lecture category	Credit(s)
		full year course	2

Theme and Objectives

Guiding students to understand what doctoral thesis is, how to choose the topic, what methodology is required and how to develop writing skills.

Students are expected to submit a proposal first and build their writings on it towards the presentation in Colloquium 1.

Description and Schedule

Learning how to tackle literature review, archival survey and other necessary guidance and supervision.

Monitoring the research topic and research project.

Evaluation

Understanding, development, provisional achievement

Information Regarding Preparation, Review and Related Subjects

Office Hour and Contact Information

Look for each supervisor's Office Hours and contact detail.

Message

Improvements in Teaching

Textbook

Reference Materials

Classroom Language

Japanese (and English as required)

Keywords

Course title	Seminar for Dissertation II		
Instructor	Thesis Supervisor	Lecture category	Credit(s)
		full year course	2

Theme and Objectives

Monitoring the process of research and writing of the thesis. Each students is required to submit a 'preparatory thesis' and give a presentation at Colloquium 2.

Description and Schedule

Interim examination of research and writing

Evaluation

Understanding, development, achievement

Information Regarding Preparation, Review and Related Subjects

Office Hour and Contact Information

Look for each supervisor's Office Hours and contact detail.

Message

Improvements in Teaching

Textbook

Reference Materials

Classroom Language

Japanese (and English as required)

Keywords

Course title	Seminar for Dissertation III		
Instructor	Thesis Supervisor	Lecture category	Credit(s)
		full year course	2

Theme and Objectives

Guiding students to complete PhD theses and preparation for the final Colloquium and the examination.

Description and Schedule

Monitoring the research, analyses and the final stage of writing-up.

Evaluation

Development and achievement

Information Regarding Preparation, Review and Related Subjects

Office Hour and Contact Information

Look for each supervisor's Office Hours and contact detail

Message

Improvements in Teaching

Textbook

Reference Materials

Classroom Language

Japanese (and English as required)

Keywords

Course title	Seminar for Dissertation I		
Instructor	Thesis Supervisor	Lecture category	Credit(s)
		full year course	2

Theme and Objectives

Advisors in the course provides research guidance for the preliminary draft of the doctoral dissertation to doctoral students in the coursework program.

Classroom Language

Course title	Seminar for Dissertation II		
Instructor	Thesis Supervisor	Lecture category	Credit(s)
		full year course	2

Theme and Objectives

Advisors in the course provides research guidance for the preliminary draft of the doctoral dissertation to doctoral students in the coursework program.

Classroom Language

Course title	Seminar for Dissertation III		
Instructor	Thesis Supervisor	Lecture category	Credit(s)
		full year course	2

Theme and Objectives

Advisors in the course provides research guidance for the preliminary draft of the doctoral dissertation to doctoral students in the coursework program.

Classroom Language

Course title	Seminar for Dissertation I		
Instructor	Thesis Supervisor	Lecture category	Credit(s)
		full year course	2

Theme and Objectives

Advisors in the course provide research guidance for the basic draft of the doctoral dissertation

Classroom Language

Japanese

Course title	Seminar for Dissertation II		
Instructor	Thesis Supervisor	Lecture category	Credit(s)
		full year course	2

Theme and Objectives

Advisors in the course provide research guidance for the basic draft of the doctoral dissertation

Classroom Language

Japanese

Course title	Seminar for Dissertation III		
Instructor	Thesis Supervisor	Lecture category	Credit(s)
		full year course	2

Theme and Objectives

Advisors in the course provide research guidance for the draft of the doctoral dissertation

Classroom Language

Japanese

Course title	Seminar for Dissertation I		
Instructor	Thesis Supervisor	Lecture category	Credit(s)
		full year course	2

Theme and Objectives

Advisors in the course offers guidance for the paper requirement of the doctoral dissertation to doctoral students in the coursework program.

Description and Schedule

discussion

Evaluation

presentation and paper

Information Regarding Preparation, Review and Related Subjects

Office Hour and Contact Information

Message

Improvements in Teaching

Textbook

Reference Materials

Classroom Language

Japanese, English

Keywords

Basic paper

Course title	Seminar for Dissertation II		
Instructor	Thesis Supervisor	Lecture category	Credit(s)
		full year course	2
Theme and Objectives			
Advisors in the course offers research guidance for the preliminary paper of the doctoral dissertation to doctoral students in the coursework program.			
Description and Schedule			
discussion adn seminar			
Evaluation			
presentation and preliminary paper			
Information Regarding Preparation, Review and Related Subjects			
Basic paper required.			
Office Hour and Contact Information			
Message			
Improvements in Teaching			
Textbook			
Reference Materials			
Classroom Language			
Japanese, English			
Keywords			
Preliminary paper			

Course title	Seminar for Dissertation III		
Instructor	Thesis Supervisor	Lecture category	Credit(s)
		full year course	2

Theme and Objectives

Advisors in the course offer research guidance for the doctoral dissertation for the pre-examination to doctoral students in the coursework program.

Description and Schedule

seminar and discussion

Evaluation

presentation and paper

Information Regarding Preparation, Review and Related Subjects

preliminary paper required

Office Hour and Contact Information

Message

Improvements in Teaching

Textbook

Reference Materials

Classroom Language

Japanese,English

Keywords

pre-examination

Course title	Seminar for Dissertation I		
Instructor	Thesis Supervisor	Lecture category	Credit(s)
		full year course	2

Theme and Objectives

This is the first step to your PhD dissertation. You write a manuscript to submit to a professional journal.

Classroom Language

Mainly Japanese. English is acceptable.

Course title	Seminar for Dissertation II		
Instructor	Thesis Supervisor	Lecture category	Credit(s)
		full year course	2

Theme and Objectives

This is the second step to your PhD dissertation. You write another manuscript to submit to a professional journal.

Classroom Language

Mainly Japanese. English is acceptable.

Course title	Seminar for Dissertation III		
Instructor	Thesis Supervisor	Lecture category	Credit(s)
		full year course	2

Theme and Objectives

This is the final step to complete your PhD dissertation.

Classroom Language

Mainly Japanese. English is acceptable.

Course title	Seminar for Dissertation I		
Instructor	Thesis Supervisor	Lecture category	Credit(s)
		full year course	2

Theme and Objectives

Supervision of the doctorate thesis

Classroom Language

Course title	Seminar for Dissertation II		
Instructor	Thesis Supervisor	Lecture category	Credit(s)
		full year course	2

Theme and Objectives

Supervision of the doctorate thesis

Classroom Language

Course title	Seminar for Dissertation III		
Instructor	Thesis Supervisor	Lecture category	Credit(s)
		full year course	2

Theme and Objectives

Supervision of the doctorate thesis

Classroom Language

Course title	Seminar for Dissertation I		
Instructor	Thesis Supervisor	Lecture category	Credit(s)
		full year course	2

Theme and Objectives

Content: Tutorial Seminar
Aim: To enhance the quality of the thesis by supervision

Classroom Language

Japanese, English

Course title	Seminar for Dissertation II		
Instructor	Thesis Supervisor	Lecture category	Credit(s)
		full year course	2

Theme and Objectives

Content: Tutorial Seminar
Aim: To enhance the quality of the thesis by supervision

Classroom Language

Japanese, English

Course title	Seminar for Dissertation III		
Instructor	Thesis Supervisor	Lecture category	Credit(s)
		full year course	2

Theme and Objectives

Content: Tutorial Seminar
 Aim: To enhance the quality of the thesis by supervision

Classroom Language

Japanese, English

Course title	Project Seminar for Dissertation III		
Instructor	FUJINO Kazuo、 Thesis Supervisor	Lecture category	Credit(s)
		full year course	2

Theme and Objectives

Classroom Language

Course title	Final Colloquium		
Instructor	Faculty Council	Lecture category	Credit(s)
		1st semester	2

Theme and Objectives

<作成中>

Classroom Language

<作成中>

Course title	Doctoral Dissertation		
Instructor	Faculty Council	Lecture category	Credit(s)
		1st semester	

Theme and Objectives

<作成中>

Classroom Language

<作成中>

Course title	Advanced Seminar in Literary and Visual Culture in North America		
Instructor	NISHITANI Takuya	Lecture category	Credit(s)
		2nd semester	2

Theme and Objectives

A Reading of Herman Melville, Moby-Dick (1851)

Description and Schedule

We will read about 20 pages in a class session.

Evaluation

Activities in the class 50%
Term paper 50%

Information Regarding Preparation, Review and Related Subjects

Read the text very carefully.

Office Hour and Contact Information

Office: E202
E-mail: takuyan@kobe-u.ac.jp

Message

Improvements in Teaching

An understanding of 19th century America through authentic literary texts

Textbook

Herman Melville, Moby-Dick (Norton Critical Edition)

Reference Materials

Classroom Language

Japanese

Keywords

Course title	Advanced Seminar in Contemporary Japanese Society		
Instructor	OSA Shizue	Lecture category	Credit(s)
		2nd semester	2

Theme and Objectives

Each one of subjects are extended by using historical study and a gender range.

Classroom Language

Japanese

Course title	” Advanced Seminar in Science, Technology and Civilization ”		
Instructor	MIURA Nobuo	Lecture category	Credit(s)
		2nd semester	2

Theme and Objectives

History of Mediaeval Sciences

Classroom Language

Japanese

Course title	Advanced Seminar in Transcultural Studies in the Ancient World		
Instructor	YAMAZAWA Takayuki	Lecture category	Credit(s)
		2nd semester	2

Theme and Objectives

Text reading on Greco-Roman Culture.

Classroom Language

Japanese.

Course title	Advanced Seminar in Contemporary Cultural Anthropology		
Instructor	SHIBATA Yoshiko	Lecture category	Credit(s)
		2nd semester	2

Theme and Objectives

Students will deepen their understanding as well as sharpen their viewpoints on their respective topics which are related to modern subjects through literature examination and discussion.

Classroom Language

Japanese, English when necessary

Course title	Advanced Seminar in Contemporary Politics		
Instructor	YASUOKA Masaharu	Lecture category	Credit(s)
		2nd semester	2

Theme and Objectives

In this course, we will read the latest articles in leading political science journals, such as American Political Science Review and American Journal of Political Science.

Classroom Language

Spoken Japanese and Written English

Course title	Advanced Seminar in Multiethnicity in North America		
Instructor	INOUE Hirotaka	Lecture category	Credit(s)
		2nd semester	2

Theme and Objectives

This seminar focuses on North American history. As a seminar, this class requires regular preparation and participation by all students.

Description and Schedule

Evaluation

Information Regarding Preparation, Review and Related Subjects

Office Hour and Contact Information

Message

Improvements in Teaching

Textbook

Reference Materials

Classroom Language

Japanese

Keywords

Course title	Advanced Seminar in Ethnology		
Instructor	UMEYA Kiyoshi	Lecture category	Credit(s)
		2nd semester	2

Theme and Objectives

This seminar is designed for students interested in cultural and social anthropology. We will explore the possible future of anthropology and the ethnic groups living around the world.

Description and Schedule

Evaluation

Information Regarding Preparation, Review and Related Subjects

Office Hour and Contact Information

Message

Improvements in Teaching

Textbook

Witchcraft Dialogues / Bond, G.C. & D.M.Ciekawy : Ohio University Press ,2001 ,ISBN:978-0896-802209

Reference Materials

Classroom Language

Japanese

Keywords

Course title	Advanced Seminar in Japan-US Cultural Exchange		
Instructor	TODA Masaru	Lecture category	Credit(s)
		2nd semester	2

Theme and Objectives

Seminar on Koizumi Yakumo ' s essays on the Japanese religions.
His transcultural writings on the subject will be philologically reexamined.

Classroom Language

Japanese

Course title	Advanced Seminar in Comparative Politics		
Instructor	SAKANO Tomokazu	Lecture category	Credit(s)
		2nd semester	2

Theme and Objectives

The aim of this seminar is to master main theories or frameworks on policy process by using a common book and relevant articles.

Classroom Language

Japanese

Course title	Advanced Seminar in Cultural Representation in France		
Instructor	SAKAMOTO Chiyo	Lecture category	Credit(s)
		2nd semester	2

Theme and Objectives

Participants will read closely and present some papers on representations of women in Europe.

Classroom Language

Japanese, French

Course title	Advanced Seminar in Social Anthropology		
Instructor	YOSHIOKA Masanori	Lecture category	Credit(s)
		2nd semester	2

Theme and Objectives

Classroom Language

Course title	Advanced Seminar in Traditional Japanese Literature		
Instructor	KINOSHITA Motoichi	Lecture category	Credit(s)
		2nd semester	2

Theme and Objectives

Reading "HOKKEHYAKUZAKIKIGAKISYO".
 Learning skills in studying Japanese classic literature "setuwa".

Classroom Language

Japanese (usually use Classical Japanese and Classical Chinese)

Course title	Advanced Seminar in Culture and Society in Southeast Asia		
Instructor	ITO Tomomi	Lecture category	Credit(s)
		2nd semester	2

Theme and Objectives

This seminar aims at studying basic notions for the study of modern Asian society and history. The seminar also reviews research methodologies for social history and ethnographical researches, in order for students to apply them for their Ph.D. studies.

Classroom Language

Japanese

Course title	Advanced Seminar in Japanese Language and Culture		
Instructor	KONNO Nobuyuki	Lecture category	Credit(s)
		2nd semester	2

Theme and Objectives

Shigeki Nishimura's writing is read. The knowledge of the thought of Meiji Era is deepened.

Classroom Language

Course title	Advanced Seminar in Language Learning Environments		
Instructor	KATO Masayuki	Lecture category	Credit(s)
		2nd semester	2

Theme and Objectives

After taking this course, students will get familiar with using technology in education. The lessons will be practice- and task-oriented.

Classroom Language

Japanese

Course title	Advanced Seminar in Visual Arts and Modern Society		
Instructor	YOSHIDA Noriko	Lecture category	Credit(s)
		2nd semester	2

Theme and Objectives

This seminar focuses on art history and art criticism in 19e and 20e century France and discusses the topics such as art and literature, art and gender, as well as cultural exchanges between Japan and France.

Classroom Language

Course title	Advanced Seminar in Art in Contemporary Society		
Instructor	ASAKURA Mie	Lecture category	Credit(s)
		2nd semester	2

Theme and Objectives

In this class, we will consider the relationship between fashion and modern design through a reading of selected books or articles.

Classroom Language

Japanese

Course title	Advanced Seminar in Applied Computer Science		
Instructor	OHTSUKI Kazuhiro	Lecture category	Credit(s)
		2nd semester	2

Theme and Objectives

This class discuss about topics on computer communication systems by suveying new technical papers.

Classroom Language

japanese

Course title	Advanced Seminar in Translation Theory		
Instructor	FUJINAMI Fumiko	Lecture category	Credit(s)
		2nd semester	2

Theme and Objectives

This course discusses various approaches and topics of translation studies by reading and translating of Encyclopedia of Translation Studies.

Classroom Language

Japanese

Course title	Advanced Seminar in Neurolinguistics		
Instructor	HAYASHI Ryoko	Lecture category	Credit(s)
		2nd semester	2

Theme and Objectives

Participants will read closely and present some recent papers on phonetics and speech communication. Participants will be also asked to plan their own experiments relevant to those papers.

Description and Schedule

Evaluation

Information Regarding Preparation, Review and Related Subjects

Office Hour and Contact Information

Message

Improvements in Teaching

Textbook

Reference Materials

Classroom Language

Japanese, English (reading)

Keywords

Course title	Advanced Seminar in Computer Simulation		
Instructor	KANG Min	Lecture category	Credit(s)
		2nd semester	2

Theme and Objectives

A discussion-based course on computer simulation approaches.

Classroom Language

Japanese

Course title	Advanced Seminar in Modern Political Thought		
Instructor	UENO Naritoshi	Lecture category	Credit(s)
		2nd semester	2

Theme and Objectives

Seminar on the Frankfurt School

Classroom Language

Japanese

Course title	Advanced Seminar in Gender and Society		
Instructor	AOYAMA Kaoru	Lecture category	Credit(s)
		2nd semester	2

Theme and Objectives

From the perspective that the formation of 'gender' as a concept makes it possible to problematise not only difference between the sexes but the multi-layered nature of discrimination, this seminar aims to understand gender as a social system that is interconnected with other identity dimensions such as race, ethnicity, class, age, occupation, disability, sexual orientation and place of origin. Taking on concrete social issues in which gaps between these dimensions compete with one another, it seeks a balance of thoughts so that diversity and equality may co-exist.

Description and Schedule

The seminar interprets 'texts', chosen with the participants, through discussion centred around a reporter for each week. The 'texts' may mean not only literary texts but also visual images, current movements or happenings, etc.

Evaluation

Presentation and contribution to the class: 50% and end-of-term essay: 50%

Information Regarding Preparation, Review and Related Subjects

As long as it is related to the whole theme and structure of the seminars, the presentation and end-of-term essay can be a 'rehearsal' piece for other more public opportunities.

Office Hour and Contact Information

Office Hour: Monday Lunchtime; 4th hr.; Wednesday Lunchtime. Contact: kaoru@jca.apc.org (clarify who you are when emailing).

Message

Note that being silent and participation contradict with each other. The 1st session is used for structuring the whole course and what will be chosen as texts; bring along fairly concrete ideas of what you want to think about through this course.

Improvements in Teaching

English reading is a must, as there are many predecessors' works.

Textbook

There is no single fixed text, but it is a precondition that you (have) read the references below.

Reference Materials

Other than below e.g.: 岩崎稔、中野敏男、大川正彦、李孝徳編2005『継続する植民地主義、ジェンダー、民族、人種、階級』青弓社
「セックスワーカー」とは誰か：移住・性労働・人身取引の構造と経験 / 青山薫：大月書店,2007 ,ISBN:9784272350261
The Force of Domesticity: Filipina Migrants and Globalization (Nation of Newcomers) / Parrenas, Rhacel S. : NYU Press ,2008 ,ISBN:9780814767351
(http://www.nodo50.org/Laura_Agustin/) / Agustin, Laura M. : , , ISBN:

Classroom Language

Japanese, but English may be used when necessary.

Keywords

Course title	Advanced Seminar in Linguistic Interface Theory		
Instructor	MIZUGUCHI Shinobu	Lecture category	Credit(s)
		2nd semester	2

Theme and Objectives

This seminar focuses on the interface study of semantics and pragmatics. Students are required to learn the theories and are expected to explore new perspectives based on the theories they have studied.

Description and Schedule

We will use Kotoba-no Imi-towa Nandaro by Kunihiro Imai and Yuji Nishiyama as our textbook, starting our discussion from semantics and then to pragmatics. Students are required to submit a term paper.

Evaluation

term paper 100%

Information Regarding Preparation, Review and Related Subjects

Basic knowledge of semantics and pragmatics is preferable.

Office Hour and Contact Information

Fri. 13.30 -,15.00
and by appointment

Message

Discuss in your own words.

Improvements in Teaching

Textbook

『ことばの意味とは何だろう』 / 今井邦彦・西山祐司 . : 岩波書店 ,2012 ,ISBN:

Reference Materials

Classroom Language

Japanese and English

Keywords

semantics
pragmatics

Course title	Advanced Seminar in Norms and Cultures		
Instructor	MUNAKATA Satoshi	Lecture category	Credit(s)
		2nd semester	2

Theme and Objectives

The aim of this seminar is to provide a deeper understanding of issues concerning gender norms of our cultures through intensive and close reading of essential texts on the subject.

Description and Schedule

Evaluation

Information Regarding Preparation, Review and Related Subjects

Office Hour and Contact Information

Message

Improvements in Teaching

Textbook

Reference Materials

Classroom Language

Japanese

Keywords

Course title	Advanced Seminar in Applied Linguistics II		
Instructor	ISHIKAWA Shin'ichiro	Lecture category	Credit(s)
		2nd semester	2

Theme and Objectives

Contents: Reading the journal papers
Aim: To deepen understanding in corpus linguistics

Classroom Language

Japanese, English

Course title	Advanced Seminar in Cultural Discourse		
Instructor	ISHIDA Keiko	Lecture category	Credit(s)
		2nd semester	2

Theme and Objectives

Considering the relation between aesthetics and/or art and other social activities, e.g. politics, religion.

Classroom Language

Japanese

Course title	Advanced Seminar in Bioinformatics		
Instructor	MURAO Hajime	Lecture category	Credit(s)
		2nd semester	2

Theme and Objectives

The course will help to make research for the recent progress in the field of cognitive information systems through reading papers and/or books in the seminar style class.

Description and Schedule

The following topics will be treated in the seminar:

- Neural networks
- Reinforcement learning
- Genetic algorithms
- Hidden Markov Model
- Bayesian inference
- etc.

Evaluation

The grade will be based on participation and attitude (40%) and assignments (60%).

Information Regarding Preparation, Review and Related Subjects

Office Hour and Contact Information

Please contact by e-mail beforehand.

E-mail: hajime.murao@mulabo.org

Message

Improvements in Teaching

Textbook

Textbook will be specified at the first class.

Reference Materials

References will be indicated at the class if necessary.

Classroom Language

Japanese, English

Keywords

Course title	Advanced Seminar in Applied Contrastive Linguistics II		
Instructor	ZHU Chunyue	Lecture category	Credit(s)
		2nd semester	2

Theme and Objectives

In this class we will be discussing about how phonetic knowledge can be applied to education, through comparing and contrasting Japanese sound and phoneme to other languages such as English or Chinese. Students are expected to acquire the research method of using equipment for experiments. In addition, students will focus on studying experimental phonetics and cultivate the ability to resolve pedagogical problems.

Classroom Language

Japanese

Course title	Advanced Seminar in Cultural Representation		
Instructor	MATSUYA Rie	Lecture category	Credit(s)
		2nd semester	2

Theme and Objectives

This course examines the ecological or environmental criticism of English Romanticism in the late 20th and 21st centuries.

Description and Schedule

This course is basically a reading session of literary criticism.

Evaluation

Class participation 50%, Final paper 50%

Information Regarding Preparation, Review and Related Subjects

Preparation for the class is necessary.

Office Hour and Contact Information

By appointment.
janjur@kobe-u.ac.jp

Message

The exact topics and texts will be decided on the first day of the class, taking participants' interest into account.

Improvements in Teaching

Textbook

Will be indicated during the class.

Reference Materials

Classroom Language

Japanese and English

Keywords

English Romanticism, Eco-criticism

Course title	Advanced Seminar in Modern and Contemporary Art Studies		
Instructor	IKEGAMI Hiroko	Lecture category	Credit(s)
		2nd semester	2

Theme and Objectives

This class examines issues in contemporary art and is designed for students to write their Ph.D. thesis.

Classroom Language

Course title	Advanced Seminar in Rhetorical Communication		
Instructor	YONEMOTO Koichi	Lecture category	Credit(s)
		2nd semester	2

Theme and Objectives

The aim of this seminar is to acquire the basic knowledge of figures of speech used in literature and consider the problems about them.

Description and Schedule

Evaluation

Information Regarding Preparation, Review and Related Subjects

Office Hour and Contact Information

Message

Improvements in Teaching

Textbook

使用しない / : , ISBN:

Reference Materials

Classroom Language

Japanese

Keywords

Course title	Advanced Seminar in Usage-based Linguistic Typology		
Instructor	YUASA Hideo	Lecture category	Credit(s)
		2nd semester	2

Theme and Objectives

The aim of this advanced seminar is to discuss the methodology of Japanese Grammar. Some topics of Japanese Linguistics will be dealt with in this class.

Classroom Language

Japanese

Course title	Advanced Seminar in Second Language Acquisition		
Instructor	TANAKA Junko	Lecture category	Credit(s)
		2nd semester	2

Theme and Objectives

The aim of this course is to study previous research in the field of second language acquisition (SLA) and to understand what needs to be done in the areas of learnability and/or feature acquisition research.

Description and Schedule

Students will read a representative article every month in the field of feature acquisition in SLA and will learn the current situation in the field. In so doing, students will discuss the construction of each paper, pros and cons of research methods used in articles as well as the validity of interpretation of the results reported in the articles.

Evaluation

Evaluation will be made by synthesizing all aspects given below.

Class participation
Assignments
Term paper

Information Regarding Preparation, Review and Related Subjects

Students need an adequate English proficiency to read SLA articles.

Office Hour and Contact Information

Tuesday lunch time.
Advance reservation by email is necessary.

Message

Those who are interested in second language acquisition are welcome.

Improvements in Teaching

Students are expected to discuss SLA related matters based on some evidence. Cares will be taken to help the students to achieve this goal.

Textbook

Textbook information will be given in the class.

Reference Materials

Classroom Language

Mostly in Japanese. English will be used to English speakers.

Keywords

Second language acquisition (SLA), feature acquisition

Course title	Advanced Seminar in Second Language Pragmatics		
Instructor	GREER Tim	Lecture category	Credit(s)
		2nd semester	2

Theme and Objectives

In this class students will conduct a more in-depth investigation of a corpus of naturally occurring talk.

Description and Schedule

Students will read a variety of English papers on Conversation Analysis and Pragmatics, especially with regard to second language learning. They will also engage regularly with recordings on naturally occurring interaction to develop detailed observations about the talk that goes on there. Together they will put together a collection of cases on a given phenomenon and work up an empirical analysis of that interactional practice.

Evaluation

Students will be graded holistically based on their active participation in class. They will also build a collection of cases and write a paper in English based on that analysis.

Information Regarding Preparation, Review and Related Subjects

This class will build on the topics introduced in the semester 1 Contents seminar, so students are highly advised to take that class first.

Office Hour and Contact Information

Monday 12:10- 13:00

Message

This class will primarily be conducted in English. Students are expected to contribute actively to the discussion and to read extensively in English.

Improvements in Teaching

Textbook

Teacher prepared materials, to be handed out in the initial class

Reference Materials

Conversation Analysis and Second Language Pedagogy / Jean Wong and Hansun Zhang Waring : Routledge ,2010 ,ISBN:
 Observing Talk: Conversation Analytic Studies of Second Language Interaction / Greer, T. : JALT Pragmatics SIG ,2010 ,ISBN:

Classroom Language

English

Keywords

Pragmatics, Second Language Learning, Conversation Analysis, Discourse

Course title	Advanced Seminar in Advanced Communication		
Instructor	YAMADA Reiko	Lecture category	Credit(s)
		2nd semester	2

Theme and Objectives

The aim of this class is to understand the role of speech in foreign language learning, through 1. lecture on contextual effects in speech processing and acquisition of lexical knowledge, 2. learning experiments on speech learning, 3. developing vocabulary learning material, and 4. lessons on speech analysis and spectrogram reading technique.

Classroom Language

Japanese

Course title	Advanced Seminar in Aesthetic Discourse		
Instructor	ISHIDA Keiko	Lecture category	Credit(s)
		2nd semester	2

Theme and Objectives

Considering the relation between aesthetics and/or art and other social activities, e.g. politics, religion.

Classroom Language

Japanese

Course title	Advanced Seminar in Popular Culture and Modern Society		
Instructor	ASAKURA Mie	Lecture category	Credit(s)
		2nd semester	2

Theme and Objectives

In this class, we will consider the relationship between fashion and modern design through a reading of selected books or articles.

Classroom Language

Japanese

Course title	Advanced Seminar in Phonetics and Learning		
Instructor	YAMADA Reiko	Lecture category	Credit(s)
		2nd semester	2

Theme and Objectives

The aim of this class is to understand the role of speech in foreign language learning, through 1. lecture on contextual effects in speech processing and acquisition of lexical knowledge, 2. learning experiments on speech learning, 3. developing vocabulary learning material, and 4. lessons on speech analysis and spectrogram reading technique.

Classroom Language

Japanese

Course title	中国社会経済論特別演習		
Instructor	谷川 真一	Lecture category	Credit(s)
		2nd semester	2

Theme and Objectives

The purpose of this course is to provide theoretical and methodological training in the field of social scientific studies on contemporary China.

Classroom Language

Japanese

Course title	Advanced Seminar in Media and Cultural Studies		
Instructor	OGASAWARA Hiroki	Lecture category	Credit(s)
		2nd semester	2

Theme and Objectives

Theme: The body in the city

Objective:: Participants are expected to make use of this seminar to look at their own research as objectively as possible by re-reading their works from a variety of perspectives.

Description and Schedule

Participants need to provide seminar topics drawn from their own or related research themes. Topics may be as follows;

1. Media and the body
2. Gender and the body
3. Sexuality and the body
4. Racialised body
5. History of the representation of the body
6. Public sphere and the body
7. Youth and the body
8. Gentrification and the body
9. The body culture

Evaluation

Participation, understanding and the end of term assignment

Information Regarding Preparation, Review and Related Subjects

Please help yourself to gain as much as you can to make your thesis better.

Office Hour and Contact Information

Thursday lunch time
hiroki@kobe-u.ac.jp
ext.7464

Message

Challenge and make effort, otherwise why are you here in this graduate school?

Improvements in Teaching

Participants will report the temporary progress of their writings and provide discussion topics.

Textbook

Introduced in the first meeting.

Reference Materials

Introduced in the class.

Classroom Language

Japanese or English

Keywords

Body, Cultural Studies

Course title	Proposal Colloquium		
Instructor	Faculty Council	Lecture category	Credit(s)
		2nd semester	1

Theme and Objectives

<作成中>

Classroom Language

<作成中>

Course title	Research Colloquium		
Instructor	Faculty Council	Lecture category	Credit(s)
		2nd semester	1

Theme and Objectives

<作成中>

Classroom Language

<作成中>

Course title	Proposal Colloquium		
Instructor	Faculty Council	Lecture category	Credit(s)
		2nd semester	1

Theme and Objectives

<作成中>

Classroom Language

<作成中>

Course title	Research Colloquium		
Instructor	Faculty Council	Lecture category	Credit(s)
		2nd semester	1

Theme and Objectives

<作成中>

Classroom Language

<作成中>